市営町裏第二住宅改修工事

図面リスト

建築工事

図面番号	各棟 1号棟	2号棟	3号棟	図面名	縮尺
A-01	○	○	∅	建築改修工事特記仕様書（1）	NON
A-02	○	○	∅	建築改修工事特記仕様書（2）	NON
A-03	○	○	∅	建築改修工事特記仕様書（3）	NON
A-04	○	○	∅	建築改修工事特記仕様書（4）	NON
A-05	○	○	∅	建築改修工事特記仕様書（5）	NON
A-06	○	○	∅	付近見取図・配置図 外灯（ポール）改修詳細図（2，3号棟）	S=1:300 S=1:30
A-07	○			1号棟　平面図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-08		○	∅	２号棟・３号棟　平面図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-09	○			１号棟　屋根伏図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-10		○	∅	２号棟・３号棟　屋根伏図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-11	○			１号棟　立　面　図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-12		○	∅	２号棟・３号棟　立　面　図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-13	○			１号棟　軒天伏図　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-14		○	∅	２号棟・３号棟　軒天伏図　　既存、改修　仕上表	S=1:100
A-15	○	○	∅	既存・改修　断面詳細図 既存・改修　展開図（台所　食事室）	S=1:30 S=1:50
A-16	○	○	∅	既存・改修　断面詳細図 既存・改修 展開図（和室8帖・和室6帖・WC）	S=1:30 S=1:50
A-17	○	○	∅	既存・改修　断面詳細図 既存・改修　展開図（浴室　洗面・脱衣）	S=1:30 S=1:50
A-18	○	○	∅	1階　平面詳細図　住宅設備改修　参考仕様	S=1:50
A-19	○	○	∅	１号棟　平面図（建具キープラン） 1・2・3号棟　建具表（各棟共通）	S=1:100
A-20		○	∅	２号棟・３号棟　平面図　　（建具キープラン）	S=1:100

電気設備工事

図面番号	各棟 1号棟	2号棟	3号棟	図面名	縮尺
E-01	○	○	∅	電気設備改修工事　特記仕様書	NON
E-02	○	○	∅	1号棟・2号棟・3号棟　平面図　電気設備　　既存、改修図	S=1:100
E-03	○	○	∅	照明器具参考姿図	NON

機械設備工事

図面番号	各棟 1号棟	2号棟	3号棟	図面名	縮尺
M-01	○	○	∅	機械設備改修工事　特記仕様書	NON
M-02	○	○	∅	換気衛生機器表	NON
M-03	○	○	∅	衛生機器表	NON
M-04	○	○	∅	1階設備平面図	S=1:50
M-05	○	○	∅	2階設備平面図	S=1:50
M-06	○	○	∅	1階設備平面図（付帯工事）	S=1:50

工　事　名			検　図	製　図	特　記	図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ　019－635－7801　ＦＡＸ　019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔				図面リスト		R6.07	／ 枚の内

工事名　市営町裏第二住宅　改修工事 特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　八幡平市田頭地内　（用途地域 第一種住居　防火地域指定なし　）
2．敷地面積
3．工事種別　改修
4．工事規模　1号棟、2号棟、~~3号棟~~
5．工事範囲　屋根、外壁塗装改修、バルコニー床樹脂パネル交換、外灯（ポール）塗装改修
浴室、床及び壁タイル撤去：一部壁解体、ユニットバスに交換
洗面化粧台、洗濯機パン撤去新設、台所流し台等撤去新設及び内壁等の改修
台所、和室8帖、和室6帖、洋室6帖の内窓（樹脂）撤去、新設（樹脂）及び木工事
設備撤去改修工事に伴い、床下点検口新設

Ⅱ．改修工事仕様

1．共通仕様
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）」（以下改修標仕と いう。）による。
ただし、改修標仕に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様
（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記仕様は、◉印の付いたものを適用する。
◉印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◉印と※印の付いた場合は、共に適用する。
（３）特記仕様書に記載の［　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（４）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和４年２月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

① 各章共通事項

章	項目	特記事項
① 各章共通事項	① 適用基準	図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年度版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ 本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	② 工事実績情報の登録（工事カルテ）	⊙ 適用する　[1.1.4]
	③ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12] ※ なし ・ あり （種類：　処理方法：　）
		特別管理産業廃棄物 ※ なし ⊙ あり （廃石綿・外壁シーリング　）
		※ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。
		現場において再利用を図るもの　（　） ※ 現場における分別－保存材は、分別する。
		⊙ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
	④ 施工管理技術者	[1.3.2] ※施工管理技術者は、工事に相応した能力を有するものとし、資格等の能力を証明する資料を提出する。
	5．電気保安技術者	・ 適用する　[1.3.3]
	⑥ 技能士	[1.6.2]

適用工事種別	職種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	⊙とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業
コンクリートブロック	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
ALCパネル、押出成形セメント板工事	エーエルシーパネル施工	・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業
		・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		・アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		・合成ゴム系シート防水工事作業
		・塩化ビニル系シート防水工事作業
		・セメント系防水工事作業
		⊙シーリング防水工事作業
		・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
		・ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙大工工事作業
屋根・とい工事	建築板金	・内外装板金作業
	スレート施工	・スレート工事作業
金属工事	内装仕上げ施工	・鋼製下地工事作業
左官工事	左官	・左官作業
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
塗装工事	塗装	⊙建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業
		・カーペット系床仕上げ工事作業
		⊙ボード仕上げ工事作業
	表装	⊙壁装作業
排水工事	配管	・建築配管作業
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		・溶融ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

①-2 一般共通事項

章	項目	特記事項
① 各章共通事項	⑦ 施工条件	施工順序に制約がある場合　[1.3.5] ・ その他の施工条件　[1.3.5] ・ 工事車両駐車場、資機材置場について　[1.3.5] ・
	⑧ 建築材料等	(a)原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。 (b)環境への配慮　[1.4.1] ※ 改修標仕 1.4.1 による
	⑨ 特別な材料の工法	改修標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。　[1.4.2]
	⑩ 石綿含有建材の調査	事前調査　[1.5.1] ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（・外部吹付材、シーリング　・内部石綿板　・図示　） 貸与資料（　）
		⊙ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト及びトレモライト 分析方法

材料名	定性分析 (JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4)
外部吹付材	・箇所数（ 2 ）棟	・箇所数（　）
シーリング	・箇所数（ 2 ）棟	・箇所数（　）
内部石綿板	・箇所数（ 1 ）棟	・箇所数（　）
サンプル数　1箇所あたり3サンプル	採取箇所　・図示	

章	項目	特記事項
	⑪ 施工図及び施工計画書	施工図及び施工計画書の提出について　[1.2.3] (a) 施工図及び施工計画書は、各工種において作成し提出する。 (b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年）」に準ずるものとする。 (C) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に委譲するものとする。 (d) 提出部数は、監督員の指示による。
	⑫ 完成時提出図書	工事完成時の提出図書　[1.9.1][表1.9.1] ※標準仕様書1.9.2及び1.9.3による。　・ 完成図の提出　（２）部　[1.9.2] 提出仕様（⊙紙ベース　⊙電子データ　・　） 保全に関する資料の提出　（２）部　[1.9.3] 提出仕様（⊙紙ベース　⊙電子データ　・　） 完成写真 撮影箇所及び提出サイズ、仕様　※監督員の指示による　・
	⑬ 設備工事との取合い	施工範囲 ・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・ 駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強 ・その他指示するところ 施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	15．施工調査	施工数量調査　[1.6.2] 調査範囲　・ 図示 調査方法　・ 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　[1.6.3] ・ 図示 調査報告書の提出部数　・2部　・
	⑯ ユニット類の品質	BL認定品を使用する

② 仮設工事

章	項目	特記事項
② 仮設工事	① 監督員事務所	[2.4.1] ・ 設ける （規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による） ⊙ 設けない
	② 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償　・ 無償）　⊙ 利用できない
	③ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償　・ 無償）　⊙ 利用できない
	4．騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　[2.1.3] ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示
	⑥ 足場等	内部足場　⊙設置する（※脚立、足場板等　・　）　[2.2.1][表2.2.1] ・設置しない 外部足場　⊙設置する（・枠組足場　・単管足場　⊙くさび緊結式　） ・設置しない 防護シートによる養生　⊙行う（・工事に必要な範囲　・　） 材料、撤去材等の運搬方法 種別・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種　・Ｅ種 Ｃ種：利用可能なエレベーター（　） Ｄ種：利用可能な階段（　） ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	⑥ 既存部分の養生	養生の方法等　[2.3.1] ⊙ 既存部分　養生の方法（※）ビニルシート、合板　・　） ⊙ 既存家具、既存設備等　養生の方法（※）ビニルシート等　・　） ・ 既存ブラインド、カーテン等　養生の方法（・ビニルシート等　・　） 保管場所　（・ 図示　・　） ・ 備品、机、ロッカー等の移動　（・ 図示　・　） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・ 図示　・　[2.3.2] 仮設間仕切りの種別と材質等　[表2.3.1]

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	塗装	充填
・Ａ種	・木	・せっこうボード（9.5mm）	・無し	グラスウール 厚さ　mm
・Ｂ種	※ 軽量鉄骨	・合板（9mm）　・	・片面	
※ Ｃ種	単管	防炎シート		

仮設間仕切に設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	備考
※ 木製	※合板張り程度	・無し	
・	・	・片面	

③ 防水改修工事

章	項目	特記事項
③ 防水改修工事	1．既存防水層等の処置	[3.2.3～6] 既存保護層の撤去　・ 行う（範囲　・ 図示　・　） ・ 行わない 既存防水層の撤去　・ 行う（範囲　・ 図示　・　） ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う（・ M4AS　・ M4ASI　・ M4C　・ M4DI　・ L4X） ・ 行わない 既存防水層の下地補修 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・ 図示　・ 改修用2重ドレン ・ 設ける（P0AS、P0ASI、P0D、P0DI、P0S、P0SI、P0Xの場合） ＰＯＳ工法及びＰＯＳＩ工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(ｇ)①～③による　・
	2．アスファルト防水	[3.3.2～5] [表3.3.3～10] 屋根保護防水 防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材（※図示　） ・コンクリート押え ・れんが押え（※JIS R 1250　・　）
・P1B	・B-1 ・B-2				
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		（材質） ※JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層あり) (厚さ)・25mm　・50mm	※フラットヤーンクロス 70ｇ/㎡程度	
・P1BI	・B1-1 ・B1-2				

改質アスファルトルーフィングシート及び部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上
タイル張り　※水下　60mm以上
・乾式保護材
・窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの。
・ 窯業系パネル－Ⅰ類（寒冷地仕様）
・ 窯業系パネル－Ⅱ類（一般地仕様）
・金属複合版：金属板と樹脂を一体化させたもの。
表面材は不燃　耐衝撃性500ｇ

屋根露出防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 CR	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			・	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける　・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		（材質） ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (種類) ※ 図示 (厚さ)・25mm　・	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

仕上塗装の種類及び使用量
※アスファルトルーフィング製造所の指定による
脱気装置の種類及び設置数量
※アスファルトルーフィング製造所の指定による
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示

屋内防水
防水層の種別　[表3.3.1、表3.3.10]

工法	種別	施工箇所	保護層
・P1E	・E-1		・設ける
・P2E	・E-2		・設けない

押さえ金物の材質、形状寸法
※ アルミニウム製、Ｌ－30×15×2.0mm程度
屋上排水溝　・適用する（施工範囲　・図示　・　）
・適用しない

章	項目	特記事項
	3．改質アスファルトシート防水	[3.4.2～3][表3.4.1～3] 防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	高日射反射率防水の適用 CR	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・	
・M3AS ・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける　・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・AS1-T1 ・AS1-J1		（材質） ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (厚さ)・25mm　・50mm	・	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける　・設けない 防湿層 ・設ける　・設けない

仕上塗装の種類及び使用量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない
押さえ金物の材質、形状寸法　※ アルミニウム製、Ｌ－30×15×2.0mm程度

3-2 防水改修工事

章	項目	特記事項
3-2 防水改修工事	4．合成高分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2～4][表3.5.1～3] 防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 CR	備考
・P0S ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2			・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・PCコンクリート下地 ・		・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2			・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける・設けない
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・S I-F1 ・S I-F2		※改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)による (厚さ)・25mm　・50mm	・	・	・	脱気装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない
	・S I-M1 ・S I-M2		※改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)による (厚さ)・25mm　・50mm	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による		

屋内防水 防水層の種別

PIS工法の種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	立上り部の保護 モルタル塗り
・S-CI	・	・	※改修標準仕様書6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる	※改修標準仕様書6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる ・	※7mm以下 ・

絶縁用シートの材質　※ 発泡ポリエチレンシート
脱気装置の種類及び設置数量　※ルーフィングシート製造所の指定による
接着工法のＰＣコンクリート下地の目地処理　・行う（・図示 ）・行わない
ＰＣコンクリート部材の入隅部の増張り　・行う（・図示 ）、・行わない）
ＰＣコンクリート部材（種別Ｓ－Ｆ1、ＳＩ－Ｆ1の場合）の入隅部の増張り
・ 行う（※図示 ）　・ 行わない
機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付けは、建築基準法により定まる風圧力に対応した工法　・図示による　・
[3.6.2～3][表3.6.1～2]]

章	項目	特記事項
	5．塗膜防水	

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 CR	備考
・P0X	・X－1 ・X－2 ・X-1H ・X-2H		・製造所の仕様による ・	・製造所の仕様による ・	・	脱気装置 ・設ける・設けない 改修用ドレン ・設ける・設けない
・L4X	・X－1 ・X－2 ・X-1H ・X-2H		・製造所の仕様による ・	・製造所の仕様による ・	・	脱気装置 ・設ける・設けない
・PY1 ・PY2	※Y－2 ・					保護層 ・設ける・設けない

脱気装置の種類及び設置数量　※主材料製造所の仕様による　・図示

章	項目	特記事項
	⑥ シーリング	[3.1.4][3.7.2～8] [表3.7.1] シーリング改修工法の種類 ・ シーリング充填工法 ⊙ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法　ボンドブレーカー張り・ 適用する　・適用しない エッジング材張り　・ 適用する　・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標仕 表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法
・図示による
・コンクリート打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地は幅２０mm以上、深さ１０mm以上、ガラス回りは改修標仕5.14.3「ガラス溝の寸法、形状等」による場合を除き幅・深さ共５mm以上とする。それ以外は幅・深さとも１０mm以上とする

シーリング材の接着性試験
・適用する　[※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験(部位　)]
・適用しない

章	項目	特記事項
	7．とい	[3.8.2～3][表3.8.1～4] といの材種 ・ 配管用鋼管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管　・ ・ 表面処理鋼板 ・表面及び裏面の塗装の種類（　） ・耐酸被覆鋼板（製造所：　） 多雪地域の軒どい取付け間隔　・適用する　・適用しない 鋼管製といの防露巻き ※ 行う（施工箇所 ※改修標準仕様書 表3.8.4による） 防露材のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　※図示 竪樋受け金物の材質、形状、取り付け間隔 ※改修標準仕様書　表3.8.2による ・ ルーフドレン

種別	材種	張掛け幅
・ ろく屋根用（・縦型 ・横型 ）	・	・100mm以上　・50mm以上
・ バルコニー用	・	・100mm以上　・50mm以上
・ バルコニー中継用	・	・100mm以上　・50mm以上

ルーフドレンの取付け
※改修標準仕様書3.8.3（6）による　・図示

章	項目	特記事項
	8．アルミニウム製笠木	[3.9.2～3][表3.9.1] 部材の種類 ・オープン形式　（・ 押出し 250形　・ 押出し 300形　・ 押出し 350形） ・板材折り曲げ形　（・オープン形式　・シール形式） 本体幅（　）mm　板厚 （※ 2.0　・　）mm 表面処理 種別（改修標準仕様書表5.2.2より）　・　種 着色　・標準色（　）　・特注色（　）
		既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　・　） ・行わない 下地補修の工法　※図示　・ 板材折り曲げ形笠木の取付方法 ※図示　・ 笠木の固定金具の工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示　・
	9．防水施工保証書	・ 提出する ・ 提出しない

工事名	会社名・住所・連絡先	登録番号	検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ 019－635－7801　ＦＡＸ 019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大久保貞輔				建築改修工事特記仕様書（1）	NON	R6,07	A-01／A-21 枚の内

④外壁改修工事

施工数量調査

調査範囲　・外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.1~2]

調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びひび割れ落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れ落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

1章「各章共通事項」と併せて適用する。

(1、コンクリート打放し仕上げ外壁)

・ひび割れ部改修工法

[4.1.4] [4.2.4～7]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40
	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
抜き取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個
抜取り部の補修方法　※図示

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

※　充填工法　[4.1.4] [4.2.4] [4.2.8]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

(2、モルタル塗り仕上げ外壁)

・ひび割れ部改修工法

[4.1.4] [4.3.5～8]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40
	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
抜き取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個
抜取り部の補修方法　※図示

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

[4.1.4] [4.3.9～10]
・充填工法　・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法　・現場調合材料
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　・図示　・　　）
仕上厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置　※図示

・浮き部改修工法

[4.1.4] [4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径外形６mm
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
既製目地材　・使用する（形状　　）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示
モルタル　・現場調合材料
・既調合材料（　　）

(3、タイル張り仕上げ外壁)

・ひび割れ部改修工法

[4.1.4] [4.4.5～6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40
	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130

エポキシ樹脂　・低粘度形（0.5mm未満）・中粘度形（0.5mm以上）
注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
抜き取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個
抜取り部の補修方法　※図示

・欠損部改修工法

[4.1.4] [4.4.7～8]
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメント
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既製調合モルタル）
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
※目荒し工法　・
・セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの種類・工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系　・
伸縮調整目地その他の目地
※変性シリコーン系　・

・浮き部改修工法

[4.1.4] [4.4.9～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	※25
・タイル部分張替え工法	—	—	—	—	—
・タイル張替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）呼び径外形６mm
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変性シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既製調合モルタル）
・JIS A 5557による一液反応硬化形変性シリコーン樹脂系
伸縮調整目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・図示
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
※目荒し工法　・

④-2外壁改修工事

・目地改修工法

タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの工法
外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地
※変性シリコーン系

・タイルの形状、寸法等

[4.1.4] [4.4.16]
・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及びぴす法　・図示

タイルの種類　[4.4.5]

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考

標準的な曲がりの役物は一体成型とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

(4、仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

・所要量の確認

[4.5.2][表4.5.1]
工程ごとの所要量の確認　※改修標準仕様書4.5.3及び表4.5.1による

・既存塗膜等の除去下地処理、下地調整

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　[4.5.4]

工法	処理範囲		下地面の補修
⊙サンダー工法	・図示	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	・図示	※既存仕上面全体	
・塗膜はく離剤工法	・図示	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	・図示	※サンダー工法、高圧水洗工法塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全体	

・下地調整材

※改修標準仕様書4.5.4の下地調整材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.4]

・仕上塗材、仕上

新規仕上塗材の種類、仕上げの形状、工法（表4.5.1）　[4.1.5][4.2.4][4.5.2]

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・	⊙砂壁状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り） ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性　・適用する・適用しない
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・	
	・外装薄塗材Ｅ	・	
	⊙可とう形外装薄塗材Ｅ	・	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・	
	・外装薄塗材Ｓ	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理 ・平たん状　・凹凸状 ・ひき起し　・かき落し 上塗材　・適用する・適用しない 吸放湿性　・適用する・適用しない
	・外装厚塗材Ｓｉ	・	
	・外装厚塗材Ｅ	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・	・ゆず肌状　・凸部処理 ・凹凸状 耐候性　※耐候形３種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系・弱溶剤系 樹脂　・アクリル系 外観　※つやあり・つやなし・メタリック
	・可とう系複層塗材ＣＥ	・	
	・複層塗材Ｓｉ	・	
	・複層塗材Ｅ	・	
	・複層塗材ＲＥ	・	
	・防水形複層塗材CE	・	
	・防水形複層塗材E	・	
	・防水形複層塗材RE	・	
	・防水形複層塗材RS	・	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・	・平たん状　・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性　※耐候形３種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系・弱溶剤系 樹脂　・アクリル系 外観　※つやあり・つやなし・メタリック
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・	
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・	

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆
外装厚塗材Ｃにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合
（・　　）
外装厚塗材Ｓｉ、外装厚塗材Eにおける上塗材の適用　・適用する　・適用しない

・マスチック塗り

[4.1.5][4.6.1][表4.6.1]
種別　・Ａ種　・Ｂ種

(5.外壁用塗膜防水材による改修

[4.1.5]　[4.7.2～6]
・所要量の確認
工程ごとの所要量の確認　※改修標準仕様書表4.7.1による

外壁用塗膜防水材　[表4.7.1]

仕上げの形状	工法	規模材の種類	仕上塗料の種類	砂壁状、じゅらく状仕上の模様材の種別	施工箇所
・凹凸状	・吹付	・	・	・	・図示による
・凸部処理					
・ゆず肌状	・ローラー				
・さざ波状					

仕上塗料の耐候性　・JIS A 6909 耐候性１種相当品　・
下地挙動緩衝材　・適用する（種類：　　）・適用しない

⑤建具改修工事

1．改修工法

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	・建具表による
・樹脂製建具		—	⊙	・建具表による
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による
	・内部	・	・	・建具表による
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による
・木製建具		—	・	・建具表による

2、防火戸

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示

[5.1.4]
・指定する　適用箇所（・建具表による　・　　）
・指定しない
自動閉鎖機構方式　・ヒューズ装置連動　・熱感知器連動　・煙感知器連動

3、見本の製作等

[5.1.5]
建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）
・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
・行わない

4、防犯建物部品

[5.1.7]
・適用する　適用箇所（・建具表による　・　　）
・適用しない

5、アルミニウム製建具

[5.2.2～5] [表5.2.1～2]
性能等級（表5.2.1）
外部に面するアルミニウム製建具
・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ G　断熱性の等級（・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による
表面処理（表5.2.2）
外部に面する建具　・ＢＢ－１種　・ＢＢ－２種
被膜等の種類　※改修標準仕様書表5.2.2による
着色　・標準色（　　）　・特注色（　　）
屋内の建具　・ＢＣ－１種　・ＢＣ－２種
被膜等の種類　※改修標準仕様書表5.2.2による
着色　・標準色（　　）　・特注色（　　）
結露水の処理方法　・図示
水きり板、ぜん板　・図示
網戸等

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0.25mm 以上	※16~18 メッシュ
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15mm

6、樹脂製建具

[5.3.2～5]
性能等級（表5.3.1～表5.3.2）
外部に面する建具　・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（・Ｔ－１　・Ｔ－２）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ G　適用する　断熱性の等級（・Ｈ－４　・Ｈ－５　・Ｈ－６　・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
日射熱取得性の等級　・
枠の見込み寸法　・建具表による
表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示
ガラス　※複層ガラス　・

7、鋼製建具

[5.4.2～4] [表5.4.2]
性能等級
簡易気密型ドアセット（表5.4.1）
・適用する　（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性（表5.2.1）
・Ｓ－４（建具符号：・建具表による　・　　）
・Ｓ－５（建具符号：・建具表による　・　　）
・Ｓ－６（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット、防音サッシ　遮音性の等級（・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドアセット、断熱サッシ G　断熱性の等級（・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
点検口等のくつずりの材料　・鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	・改修標準仕様書表5.4.2による

工事名	作成者	検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019－635－7801　FAX 019－635－7830 岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大久保貞輔				建築改修工事特記仕様書（2）	NON	R6,07	A-02／A-21 枚の内

5-2 建具改修工事

8．鋼製軽量建具

性能等級 [5.5.2～4]

簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
　　・適用しない

防音ドアセット、防音サッシ　遮音性の等級（・　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

断熱ドアセット、断熱サッシ G　断熱性の等級（・　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（・　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ピニル被覆鋼板
　　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板

鋼板の厚さ　・　改修標準仕様書表5.5.1による

召合せ、縦小口包み板の材質
　　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニュウム合金の押出形材

9．ステンレス製建具

性能等級 [5.4.2] [5.6.2～5]

簡易気密型ドアセット　・適用する　（建具符号：・建具表による　・　　）
　　・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性（表5.3.1）
　　・S－4（建具符号：・建具表による　・　　）
　　・S－5（建具符号：・建具表による　・　　）
　　・S－6（建具符号：・建具表による　・　　）

防音ドアセット、防音サッシ　遮音性の等級（・　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

断熱ドアセット、断熱サッシ G　断熱性の等級（・　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
　　（建具符号：・建具表による　・　　）

ステンレス鋼板　※SUS 304　・SUS 430J1L　・SUS 443 J1

表面仕上げ　※ ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ

曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ

10．木製建具 [5.7.2]

建具材の含水率　※A種　・B種

フラッシュ戸、戸ぶすまの材料のホルムアルデヒド放散量
　　・Ｆ☆☆☆☆
　　・改修標準仕様書5.7.2（２）（イ）（a）②による

ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）の表裏面
　　表裏面の状態による区分（・DV　・D0　・DC）
　　接着剤による区分（・U　・M　・P）
　　曲げ強さによる区分（・30　・25　・15）
　　難燃性による区分（・難燃2　・難燃3）

かまち戸の樹種　・かまち材（　　）
　　・鏡板　（　　）

ふすま　種別　・Ｉ型　・Ⅱ型
　　上張り（押入等の裏紙以外）　**・島の子　・新島の子又はビニール紙程度**

枠及びくつずりの材料　※建具表による　・

フラッシュ戸のいんろう付き召し合せ　・採用する　・採用しない

ふすま、戸ぶすまの縁の仕上げ ※建具表による　・

11．建具用金物 [5.8.2～4]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
　　※ 改修標仕 表5.8.1及び表5.8.2による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
　　・建具表による

マスターキーの製作　・製作する　・製作しない
　　・既存のマスターキーに合わせる

鍵箱　・有り　・無し

12．自動ドア開閉装置 [5.9.2～3]

自動ドア	開閉装置の性能	防錆	引戸用検出装置	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※改修標準仕様書表5.9.1による ・	・適用する ・適用しない	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ（無線式） ・タッチスイッチ（光線式） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ	・行う（適用箇所は建具表による） ・行わない
・図示	・			

車椅子使用者便房の開閉スイッチ　・大型（開・閉）押しボタンスイッチ
　　・非接触スイッチ

戸の開閉方式　・建具表による

13．自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]

自閉式上吊り引戸装置の性能値
　　※ 改修標仕 表5.10.1による

14．重量シャッター [5.11.2～3]

シャッターの種類
　　・ 管理用シャッター　耐風圧強度　（　　）pa
　　・ 外壁用防火シャッター　耐風圧強度　（　　）pa
　　・ 屋内用防火シャッター
　　・ 防煙シャッター

開閉方式の種類　※ 電動式（手動併用）・ 手動式

安全装置（急降下制御装置又は急降下停止装置）の設置個所
　　急降下制御装置又は急降下停止装置　※建具表による ・
　　障害物感知装置の設置個所　※建具表による ・
　　危害防止機構の設置個所　※建具表による ・

屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
　　・設ける　※障害物感知装置（自動閉鎖型）
　　・可動座板式
　　・設けない

管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板
　　鋼板の種類　・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
　　・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

15．軽量シャッター [5.11.2～4]

開閉形式　※ 手動式　・ 上部電動式（手動併用）

耐風圧強度　（　　）pa

スラットの材質　・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
　　めっきの付着量（※ Z06又はF06　・　　）
　　・ JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑｰ亜鉛合金めっき鋼板)
　　めっきの付着量（※ AZ90　・　　）

スラットの形状　・インターロッキング形
　　・オーバーラッピング形

障害物感知装置を設けた電動シャッター　※図示

5-3 建具改修工事

16．オーバーヘッドドア [5.13.2～4]

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・1250 ・1000 ・750 ・500	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電　動　式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 （※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 ・　　）

障害物感知装置を設けた電動タイプ　※図示

17．ガラス [3.7.2] [5.14.2～4] [図5.14.1]

・特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示（建具表）による

⊙フロート板ガラス　※品種、厚さは建具表による

⊙型板ガラス　※品種、厚さは建具表による

・ 網入板ガラス及び線入板ガラス
　　品種、厚さ及び網又は線の形状　※建具表による

・ 合わせガラス

品種	構成種類	球面衝撃はく離特性、ショットバック衝撃特性
※建具表による		・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	破片の状態及びショットバック衝撃特性
・フロートガラス	・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類
・型板ガラス	・ 型板強化ガラス	

・ 熱線吸収板ガラス

品　種	性能	色　調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
・ 熱線吸収網入磨き板ガラス		

・ 複層ガラス　板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による

品種	断熱性の区分	日射取得性・遮へい性による区分	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス	・T1　・T3　・T5 ・T2　・T4　・T6	・G　・S	・空気 ・アルゴン
・日射熱遮へい複層ガラス	・T1　・T3　・T5 ・T2　・T4　・T6	・G　・S	・空気 ・アルゴン

・ 熱線反射板ガラス

品種	日射遮へい性	耐久性による区分	色　調
・熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・ 1種	A種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー
	・ 2種	・A種・B種	
	・ 3種	B種	

反射被膜面　・ 内面　・ 外面
映像調整　・ 行う　・ 行わない

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類	厚さ（mm）	色　調
・ フロート倍強度ガラス		―
・ 熱線吸収倍強度ガラス		・ グレー　・ ブルー　・ ブロンズ

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形	※建具製造所の仕様による
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビード	※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による

18．ガラスブロック [5.13.5]

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調 クリヤ	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
正方形	・125×125	・80	・	・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以下	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95　・125	・	・				
	・200×200	・95　・125	・	・				
	・320×320	・95	・	・				
長方形	・250×125	・80	・	・				
	・320×160	・95	・	・				

壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　）
　　・設けない

力骨　材質　※ステンレス鋼（SUS304）　・
　　寸法　※径5.5ｍｍ　・
　　形状　※はしご形状腹筋及び単筋　・

化粧目地モルタルの色　・（　　）

金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　　寸法　・図示　・
　　形状　・図示　・

シーリング材の種類　・（　　）

工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
　　・図示による　・

目地部の力骨の補強方法
　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示

19．ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他の性能等
・日射調整フィルム G	・ＳＣ-1	・ＳＣ-2	
・低放射フィルム	・ＬＥ		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＩ-1	・ＧＩ-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ＧＤ-1		
・ガラス貫通防止フィルム	・ＳＦ		

品質　JIS A 5759による

6 内装改修工事

1．改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
　※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・ 図示

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
　※ 既存のまま　・ 図示

2．既存床の撤去、下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも）
　　・ 下地モルタルとも（・ 図示の範囲　・ 撤去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法　・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法

3 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　・
　※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
　（塗り厚 25mm を超える場合の補強　※図示）

4 木材 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
　※ Ｆ☆☆☆☆
　・ホルムアルデヒド放散量表示がない場合は改修標準仕様書6.5.2（1）（ウ）
　　（b）による

間伐材等の適用　・適用する

5．製　材 G [6.5.2]

「製材の日本農林規格」による製材

・下地用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	備考
	・図示	※2級 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	
	・図示	※2級 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	

・造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	備考
見え掛り面	・図示	※上小節 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	
見え掛り面以外	・図示	※小節以上 ・	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	

・広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等　級	含水率	保存処理	備考
	・図示	※１等 ・	・A種　・B種 ※10%以下	・適用する ・適用しない	
	・図示	※１等 ・	・A種　・B種 ※10%以下	・適用する ・適用しない	

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	備考
	・図示	（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	・A種　・B種 ・	
	・図示	（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	・A種　・B種 ・	

6.造作用集成材 G [6.5.2]

造作用集成材

・造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	見付材面数	見付け材面の品質
			・図示		※１等　・2等
			・図示		※１等　・2等

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付材面数	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：	・図示			※１等　・2等
		化粧薄板： 芯材：	・図示			※１等　・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率
		・図示		※15%以下 ・
		・図示		※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：	・図示			※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：	・図示			※15%以下 ・

7．造作用単板積層材 G [6.5.2]

造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	品名	厚さ（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
		・	・有　（加工：・天然木化粧加工・塗装加工　） ・無（等級：・1等・2等・3等）	・適用する ・適用しない
		・	・有　（加工：・天然木化粧加工・塗装加工　） ・無（等級：・1等・2等・3等）	・適用する ・適用しない

6-2 内装改修工事

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率	防虫処理
		・有　（加工：・天然木化粧加工・塗装加工　） ・無（　　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・有　（加工：・天然木化粧加工・塗装加工　） ・無（　　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・ＣＬＴ（直交集成板 G

施工箇所	品　名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法（mm）
						・図示
						・図示

8．下地用合板等 [6.5.2]

・普通合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	表板の品質	防虫処理
		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹　※2等以上・1等 針葉樹　※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない
		・				

・構造用合板 G

施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	保存処理の適用	防虫処理	強度等級
		※2級以上 ・1級		※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・しない	・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない
		・2級 ・1級		・	・	・適用する ・しない	・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用　※特類　・
　　その他の場合　※1類以上　・

・化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・適用する（　　）
				・	・

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用　※特類　・

・天然木化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する（　　）
			・	・

・特殊加工化粧合板 G

施工箇所	品名	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・適用する（　　）
			・		・	・

・パーティクルボード G (12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
	・	※13ﾀｲﾌﾟ ・	・MR(1)(M)又はMR(2)(P)タイプ ・	・	※ 15 ・
	・	・	・	・	・

・構造用パネル (12.2.1)

施工箇所	品　名	厚さ（mm）
	・	・
	・	・

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・

9 接着剤 [6.5.3～4]

接着剤（木れんが用接着剤を含む）のホルムアルデヒド放散量
　※ Ｆ☆☆☆☆

10．防腐、防蟻処理 [6.5.5]

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
　適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
　適用部位：（　　）
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
　適用部位：（　　）
・防虫処理の適用
　適用部位：（　　）保存処理の性能区分（　　）

工　事　名									
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ　019－635－7801　ＦＡＸ　019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記	図面内容 建築改修工事特記仕様書（3）	縮　尺 NON	年月日 R6.07	番　号 A-03／A-21 枚の内

6-3 内装改修工事

11．軽量鉄骨天井下地

[6.6.2～4]

野縁等の種類　屋外　・19型　※ 25型
　　屋内　※19型　・25型

・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
　工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
　　・図示による
　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・ 図示
　周辺部の端からの間隔　・ 図示
　野縁の間隔　・ 図示
既存の埋込みインサート　・ 使用する　・ 使用しない
あと施工アンカーの引張試験　・ 行う
　　・ 行わない
・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　補強方法　※ 図示
・ 天井のふところが1.5m以上3.0mの場合
　補強方法　※ 改修標準仕様書6.6.4(8)(ア)(イ)による　・
・ 天井のふところが3.0mを超える場合
　補強方法　※ 図示
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　※ 図示
　補強方法　※ 図示
・開口部の補強
　・補強野縁及び、野縁受の追加による。野縁受のはね出しは150mm以下となるようにつりボルトの増つりを行う。
　・図示による

12．軽量鉄骨壁下地

[6.7.3][表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類
　※ 改修標準仕様書6.7.3によるスタッド高さによる区分に応じた種類
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※ 図示による

13．ビニル床シート
ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
ゴム床ﾀｲﾙ

[6.8.2～3]

ﾋﾞﾆﾙ床シート G

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備　考
※ FS ・	・ 無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・ 柄物	※ 2.0 ・	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性		

目地処理する場合の工法　※ 熱溶接工法
　　・

ビニル床タイル G　[6.8.2]

種類の記号	色　柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ(mm)	備　考
※KT ・TT ・FT ・FOA ・FOB	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性 ・	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	

・視覚障害者用床ﾀｲﾙの種類・形状（種類：　　形状：　　）
ビニル幅木　材質　・ 軟質　・ 硬質
　高さ (mm)　※ 60　・ 70　・ 100
　厚さ (mm)　※ 1.5以上　・

ゴム床タイル　[6.8.2]
色柄　（　　）
厚さ(mm)　・ 3.0　・ 4.5　・ 6.0　・ 9.0
寸法(mm)　（　　）

特殊機能　[6.8.2]
帯電防止　・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満
　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ～1x10 Ω程度
下地がセメント系、木質系以外の場合の接着剤の種別　[表6.8.1、表6.8.2]
　※床材製作所の仕様による　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　[6.8.2]

14．カーペット敷き G

・織じゅうたん　[6.9.2～3][表6.9.1～2]

パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考(参考品番)
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ ウィルトン ・ ダブルフェース ・ アキスミンスター	※ 無地 ・ 柄物 （標準品）	・ 適用する ・ 適用しない	

無地の織じゅうたんの種別　・A種　・B種　・C種
下敷き材　※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
接合方法　※ヒートボンド工法　・

・ タフテッドカーペット　[6.9.2～3]

パイル形状	パイル長さ (mm)	工　法	帯電性	備考(参考品番)
・ カットパイル	※ 5～7	※ 全面接着工法	・ 適用する	
・ ループパイル	※ 4～6	・ グリッパー工法	（性能：※ 人体耐電圧 3kv 以下 ・ ）	
・ レベルループパイル	※ 4			
・ カット、ループ併用	・		・ 適用しない	

下敷き材（グリッパー工法の場合）
　※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm

・ タイルカーペット　[6.9.2～3]

パイル形状	種　別	施工箇所	寸法 (mm)	厚さ(mm)	備　考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方
　平場　※ 市松敷き　・ 模様流し　・
　階段部分　※ 模様流し　・ 市松敷き　・
見切り、押え金物　材質（　　）
　　種類（　　）
　　形状等　※図示　・

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　[6.9.2]

6-4 内装改修工事

15．合成樹脂塗床

種類　[6.10.2～3]

種　別	工　法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材 （弾性ウレタン樹脂系塗床材）		※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上	
・厚膜型塗床材 （エポキシ樹脂系塗床材）	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上 ・防滑仕上	
・薄膜型塗床材 （エポキシ樹脂塗床材）		※平滑仕上	

塗床材のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆

16．フローリング張り

単層フローリング G　[6.11.2～6]

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	幅及び長さ (mm)
・ フローリングボード１等	・ 釘留め工法（根太張り）	※ なら ・	15	標準仕様書　表6.11.1による
	・ 釘留め工法（直張り）	※ なら ・	・12以上 ・	標準仕様書　表6.11.3による
	・ 接着工法	※ なら ・	・8以上 ・	標準仕様書　表6.11.5による
・ フローリングブロック１等	・ 接着工法	※ なら ・	15	

複合フローリング G

種　類	工　法	樹　種	種別	幅及び長さ (mm)
・天然木化粧複合フローリング	・ 釘留め工法（根太張り）	※ なら ・	・A種 ・B種 ・C種	標準仕様書　表6.11.2による
	・ 釘留め工法（直張り）	※ なら ・	・A種 ・B種 ・C種	標準仕様書　表6.11.4による
	・ 接着工法	※ なら ・	・A種 ・B種 ・C種	標準仕様書　表6.11.6による

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆
接着工法の場合の緩衝材　※ 合成樹脂発泡シート　・
現場塗装仕上
　・ 行う（施工箇所　　）
　　※ ウレタン樹脂ワニス塗り
　　・ オイルステインの上、ワックス塗り
　　・ 生地のままワックス塗り
　・ 行わない
関伐材等の適用　・適用する

17．畳敷き

[6.12.2]

種別　・ A種　・ B種　・ C種
　　・ D種（畳床：・KT-I　・KT-II　・KT-III　・KT-K　・KT-N）
・衝撃緩和型畳　畳表（JIS A 5902）　・C1　・C2

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

18．せっこうボードその他ボード及び合板張り

[6.13.2～3]

種　類	厚さ (mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 中質木毛セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 普通木毛セメント板 G	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 硬質木片セメント板 G	・ 12　・ 15　・ 18　・ 21
・ 普通木片セメント板 G	・ 30　・
⊙ けい酸カルシウム板 G	タイプ２（無石綿）○6　・8
・ ロックウール化粧吸音板	・ フラットタイプ （・ 9（不燃）・ 12（不燃）　・　） ・ 凹凸タイプ（・ 12（不燃）・ 15（不燃）　・　）
・ ロックウール吸音ボードI号	・ 25
・ グラスウール吸音ボード 32K	・ 25（ガラスクロス包）　・
・ せっこうボード	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）　・
・ 不燃積層せっこうボード	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙ シージングせっこうボード	12.5 ⊙不燃　・準不燃
・ 強化せっこうボード	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	9.5
・ 化粧せっこうボード（木目）	12.5（不燃）　幅 440mm 程度 模様（・ 柾目　・ 板目）専用下地材有り
・ 化粧せっこうボード （トラバーチン模様）	9.5（準不燃）
・ 普通合板 G	表面の材種 生地、透明塗料塗り （※ ラワン程度　・　　） 不透明塗料塗り （※ しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 厚さ (mm)（　　） 接着の程度（・１類　・2類　） ・ 防虫処理

6-5 内装改修工事

・ 天然木化粧合板 G	樹種名（　　） 接着の程度（・ １類　・ ２類） 厚さ (mm)（　　） ・ 防虫処理
・ 特殊加工化粧合板 G	特殊加工の方法 （・ オーバーレイ　・ プリント　・ 塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・ １類　・ ２類） 厚さ (mm)（　　） ・ 防虫処理
・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　厚さ（※ 1.2　・　）
・ ポリエステル樹脂化粧板	
・ミディアムデンシティファイバーボード G	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・ 単板張りパーティクルボード G	・ 未研磨板　・ 研磨板 ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・
・ 化粧パーティクルボード G	・ 単板オーバーレイ　・ プラスチックオーバーレイ・ 塗装 ・ 10（難燃）　・ 12（難燃）　・
・ ハードボード（素地）G	・ 無研磨板（・ スタンダード　・ テンパード） ・ 研磨板（・ スタンダード　・ テンパード）
・ ハードボード（化粧）G	・ 内装用　・ 外装用 ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード G	A級（・ 天井仕上　・ 内装仕上　・　） ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18

材料のホルムアルデヒド放散量
　・ F☆☆☆☆
　・ 改修工事標準仕様書６．１３．２(b)(c)(d)による
接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※ F☆☆☆☆　・
遮音シール材　・ 適用する（・ シーリング材　・ ジョイントコンパウンド）
　　・ 適用しない
合板類の張付け　・ B種　・ A種
せっこうボードの目地工法
　⊙ 継目処理工法
　・ 突付け工法
　・ 目透し工法

19．壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　[6.14.2～3]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	防火種別	備考(参考品番)
洗面所	・	・	⊙	・	・	※ 不燃　⊙準不燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃　・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整　※ B種
コンクリート・ＡＬＣ面の下地調整　※ B種
せっこうボード面の下地調整　※ B種

20．モルタル塗り

[6.15.3～6]

材料　・現場調合材料（セメントは改修共通仕様書6.15.3による）
　　・既調合材料（　　）
既製目地材　・ 設ける　施工箇所（　　）　形状（※ 図示　・　）
　　・設けない
床目地　・ 設ける（工法：※ 押し目地　・　）　・ 設けない
壁モルタル塗りの厚さが25mmを超える場合の下地処理　・（　　）

・ 防水剤の品質・性能

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	（凝結） 凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内 （安定性） 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりについて観察する。
曲げ及び圧縮強度比	70%以上
吸水比	95%以下
透水比	80%以下

21．タイル張り

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置
　床タイル（※ 縦、横とも4m以内ごと　・ 図示　・　）
　床タイル以外（・ 図示　・　）
伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・セメントモルタルによるタイル張り
　タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考(参考型番)
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない
既調合モルタル　・適用する（品質等：　　）
コンクリート素地面の処理
　・MCR工法　・目荒し工法
壁タイルの種類・大きさに応じた工法
　内装タイル（小口平、二丁掛、100角）　・密着張り
　　・改良圧着張り
　ユニットタイル（内装タイル以外）　・マスク張り
　　・モザイクタイル張り
・接着剤によるタイル張り
　タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	備考(参考型番)
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　・ 行わない
見本焼き　・ 行う　・ 行わない
内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外

22．セルフレベリング材塗り

[6.17.2～3]

種類　・ せっこう系　・ セメント系
品質　※改修標準仕様書表6.17.2による　・
塗厚 (mm)　・

7 塗装改修工事

1 材　料

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
　※ 規制対象外

防火材料　※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　　・ 次の箇所を除き防火材料とする　（箇所　　）

2 下地調整・素地ごしらえ

[7.2.1～7][7.3.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
　※ 塗替え面積の（　%）　・ 図示

下地調整

下地面の種類		塗替えの下地調整	新規塗装の素地ごしらえ	ひび割れ部の補修
木部	不透明塗料塗り	※ＲＢ種　・	※Ａ種	－
	透明塗料塗り	・	※Ｂ種	－
鉄鋼面		※ＲＢ種　・	※Ｃ種（ＤＰの場合※Ｂ種）	－
亜鉛めっき鋼面		※ＲＢ種　・	・Ｂ種　・Ａ種	－
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）		※ＲＢ種　・	・Ｂ種	－
モルタル面、プラスター面		※ＲＢ種　・	※Ｂ種　・Ａ種	・行う ・行わない
コンクリート面（ＤＰ以外）、ＡＬＣパネル面		※ＲＢ種　・	※Ｂ種　・Ａ種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面		・ＲＡ種　・ＲＢ種 ・ＲＣ種	※Ｂ種	・行う ・行わない
コンクリート面（ＤＰ）、		・ＲＢ種　・ＲＣ種	・Ａ種　・Ｂ種	・行う ・行わない
せっこうボード面、その他ボード面		※ＲＢ種　・	継目処理工法　※Ａ種 その他の工法　※Ｂ種	－

3 錆止め塗料塗り

[7.4.2～3]

錆止め塗料塗りの種別

塗装面				塗料種別	工程
鉄鋼面	ＳＯＰ	塗替え		※Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り		※Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ		※Ａ種	※Ｂ種　・
	ＤＰ	塗替え	下地調整RA種	※1回目　Ｃ種 ※2,3回目　Ｄ種	※Ａ種　・
			下地調整RB種及びRC種	※E種	※Ａ種 ⊙Ｂ種
		新規見え掛り 新規見え隠れ		※1回目　Ｃ種 ※2,3回目　Ｄ種	※Ａ種　・
	ＥＰ－Ｇ	塗替え		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り		※Ｂ種　・Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・
亜鉛めっき鋼面	ＳＯＰ	塗替え		※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り		※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
		新規鋼製建具等		※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
	ＤＰ	塗替え		※Ｂ種	改修標準仕様書表7.4.6による
		新規見え掛り		※Ｂ種	
		新規見え隠れ		※Ｂ種	
	ＥＰ－Ｇ	塗替え		※Ｃ種	※Ｃ種　・
		新規見え掛り		※Ｃ種	※Ｂ種　・
		新規鋼製建具等		※Ｃ種	※Ａ種　・

4 塗装

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種　・	※Ｂ種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
・クリヤラッカー塗り（ＣＬ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（ＮＡＤ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
⊙耐候性塗料塗り（ＤＰ）	鉄鋼面　上塗り等級（　）級	改修標仕 表7.8.1による	改修標仕 表7.8.1による
	亜鉛めっき面　上塗り等級（　）級	改修標仕 表7.8.1による	改修標仕 表7.8.1による
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ－1種 ・Ｂ－1種 ・Ｃ－1種	・Ａ－1種 ・Ｂ－1種 ・Ｃ－1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	コンクリート面等	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・	※Ａ種　・
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）		※Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
⊙オイルステイン塗り（ＯＳ） 塗料（・油性　・水性）		－	－
⊙木材保護塗料塗り（ＷＰ）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード、その他のボード面）の塗替えの場合のしみ止め
　※改修標準仕様書7.9.2 (2) により、工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）の塗替えの場合のしみ止め
　※ 改修標準仕様書 7.9.2 (2) による　・

・ 高日射反射塗料塗り G
　下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　・ＲＡ種　・ＲＢ種　・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射塗料	２種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

工　事　名	設計事務所	検　図	製　図	特　記	図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019－635－7801　FAX 019－635－7830 岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔				建築改修工事特記仕様書（4）	NON	R6,07	A-04／A-21 枚の内

9-1 環境配慮改修工事

1. 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1～9.1.6]

石綿粉じん濃度測定
・適用する ㊀適用しない

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室以外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺　・敷地境界	・計　点
・	測定7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計　点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基ずいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理

・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・ 図示
除去工法　※ 9.1.3(2)(ア)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止処置
※ 湿潤化　・ 固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有保温材の除去
除去対象範囲　・ 図示
除去方法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設）

・ 石綿含有成形板等の除去
除去対象範囲　・ 図示
作業場周辺の養生
・行う（・養生シート　・　　）
・行わない
除去した石綿含有成形板等の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上げ塗材の除去
除去対象範囲　・ 図示
石綿含有仕上げ塗材の除去工法
・電気グラインダー工法（・湿潤化　・　　）
・高圧洗浄工法
・
除去した石綿含有仕上げ塗材（汚泥）の処理
・ 埋立処分（管理型最終処分場）

・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事
※ 図示による　・

2. 外断熱改修工事 G

[9.2.2～4]

断熱材

種　類		厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	・	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・ フェノールフォーム断熱材	・	・
・ ロックウール	・	・
・ グラスウール	・	・
・		

施工箇所　・ 図示　・
ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外

外装材

種　類	防火性能	備考
・		
・		

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去　・ あり　・ なし
下地面の清掃　・ 行う　・ 行わない
欠損部の改修工法　・ 改修標準仕様書4章 外壁改修工事による　・

工法
不陸等の下地調整　・外装材製造所の仕様による　・
通気層の有無　・ あり（　　mm）　・ なし
断熱材の施工　・ 断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工　・ 外装材製造所の仕様による　・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　・図示による　・

3. 断熱・防露改修工事 G

[9.3.2～4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆

・ 断熱材打込み工法

種　類		厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・
・ フェノールフォーム断熱材		・

施工箇所　・ 図示　・

・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類（JIS A 9526　建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム）
・ Ａ種１　・ Ａ種１Ｈ
厚さ (mm)　・ 25　・ 30　・
施工箇所　・ 図示　・

・ 断熱材後張り工法
断熱材の種類（JIS A 9521　発泡プラスチック断熱材）
・（　　）
厚さ(mm)　・
施工箇所　・ 図示　・

断熱材に直接ボードの張付けを行う場合の工法
・図示による　・

断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法
・図示による　・

4. 屋上緑化改修工事 G

[9.4.1～4]

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム　・ 適用する　・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・

（品質・性能）

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。（保水層を有する場合は、保水層共）
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡/h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×10 N/㎡の載荷重で破損・有害なひずみなど異常がないこと。（保水層を有する場合は保水層共）
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による

かん水装置　・ 設置する
（種類　・　　・　　・　　）

既存保護層の撤去　・ 行う（・改修標準仕様書3.2.3による　・　　）
・ 行わない

新植した芝及び地被類の枯保障の期間　※引渡の日から1年

5. 透水性アスファルト舗装改修工事 G

[9.5.2～9]

既存舗装の撤去及び再利用　※ 図示による　・

路床
路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・Ｄ種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G	・ 図示 ・
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン G　・ クラッシャラン ・切込み砂利 ・ 砂 ・	・ 図示 ・
・ フィルター層	・ 砂 ・	・ 図示 ・

路床安定処理　・適用する　・適用しない
路床安定処理の方法
・添加材料による安定処理　・
・路床安定処理用添加材料
種類　・ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントＢ種 G
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・1号）　・ 消石灰（・特号　・1号）
添加量　kg（目標CBR　・ 3 以上　・　）
目標ＣＢＲを満足する添加量の確認方法
・ 安定処理土のＣＢＲ試験

試験
砂の粒度試験　・ 行う　・ 行わない
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・ 行う　・ 行わない
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
路床締固め度試験　・ 行う　・ 行わない

9-1 環境配慮改修工事

路盤
路盤の厚さ　・ 図示による　・
路盤材料

種　類	
砕石	・ クラッシャラン
	・ 粒度調整砕石
再生材	・ 再生クラッシャラン G
	・ 再生粒度調整砕石 G

・ クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・ 粒度調整鉄鋼スラグ G
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

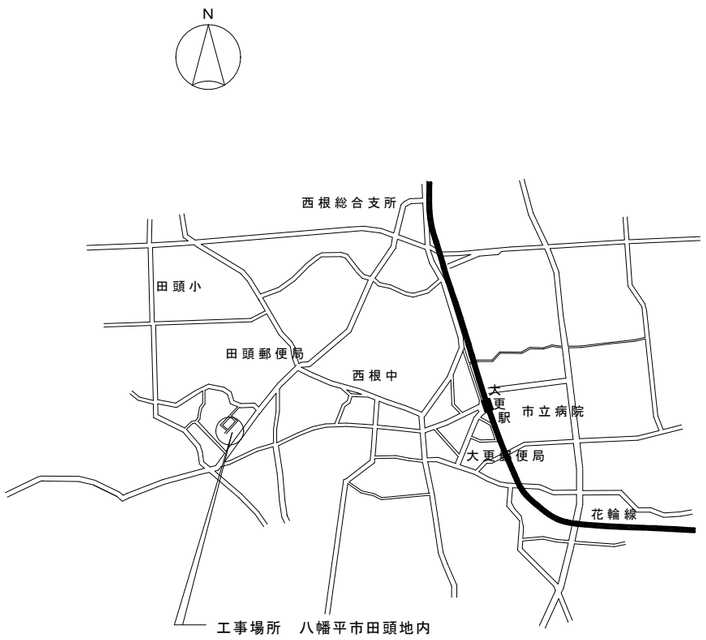
舗装の構成　・図示による
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・ 行う　・ 行わない
舗装の平たん性　※ 著しい不陸がないもの

その他

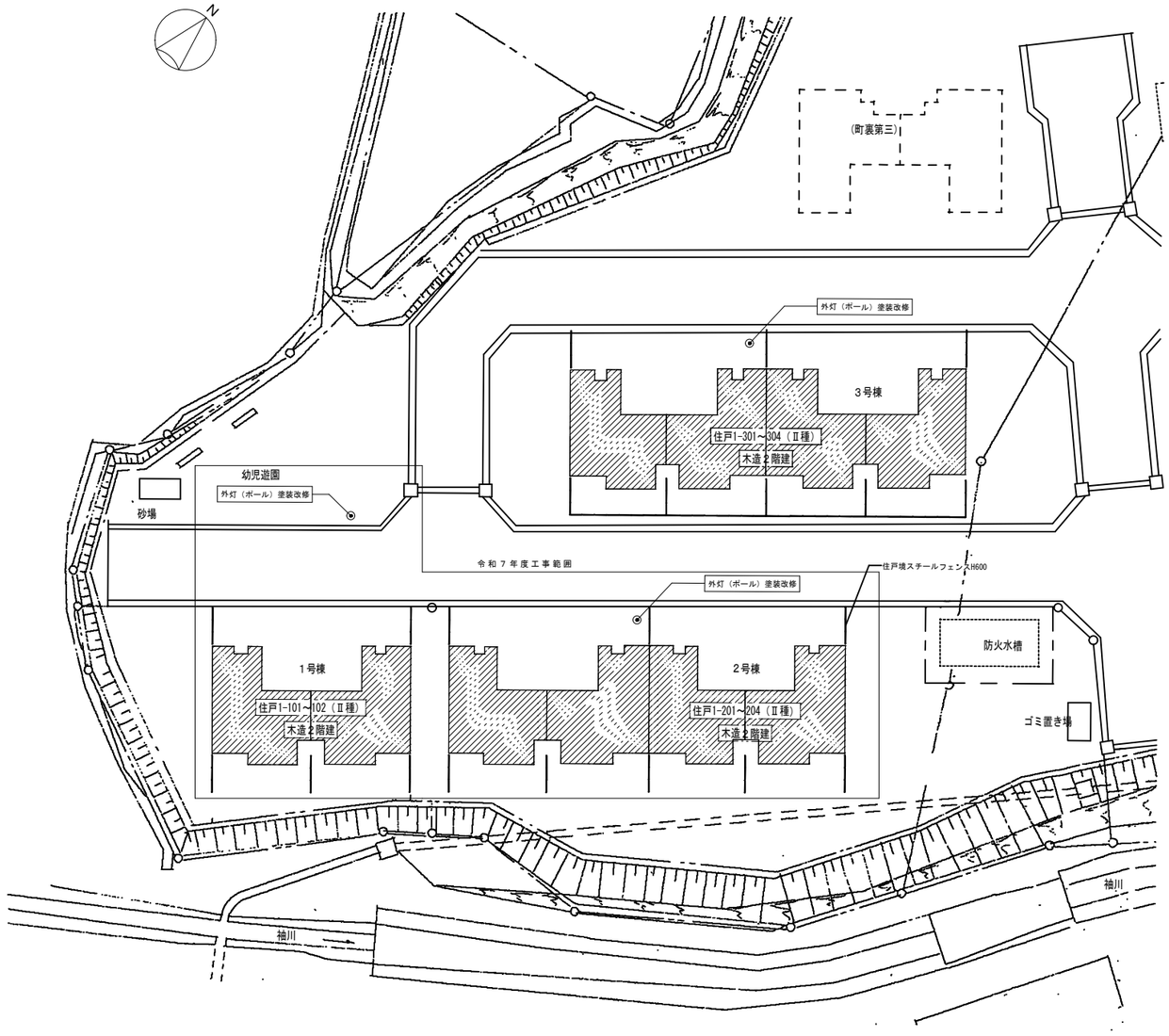
1. 週休２日工事

本工事は、八幡平市週休２日工事実施要領に定める「週休２日工事」である。実施にあたっては、『八幡平市週休２日工事実施要領』に基づき行うこと。詳細については、以下のホームページ「週休２日工事の対象を拡大します」を参照すること。

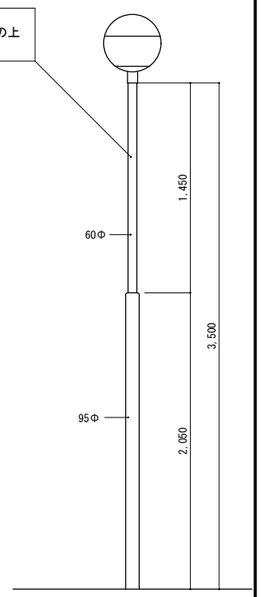
https://www.city.hachimantai.lg.jp/soshiki/somuka/25781.html
≪八幡平市トップページ＞分類でさがす＞しごとの情報＞入札・契約情報＞契約に関するお知らせ＞週休２日工事の対象を拡大します≫



付近見取図

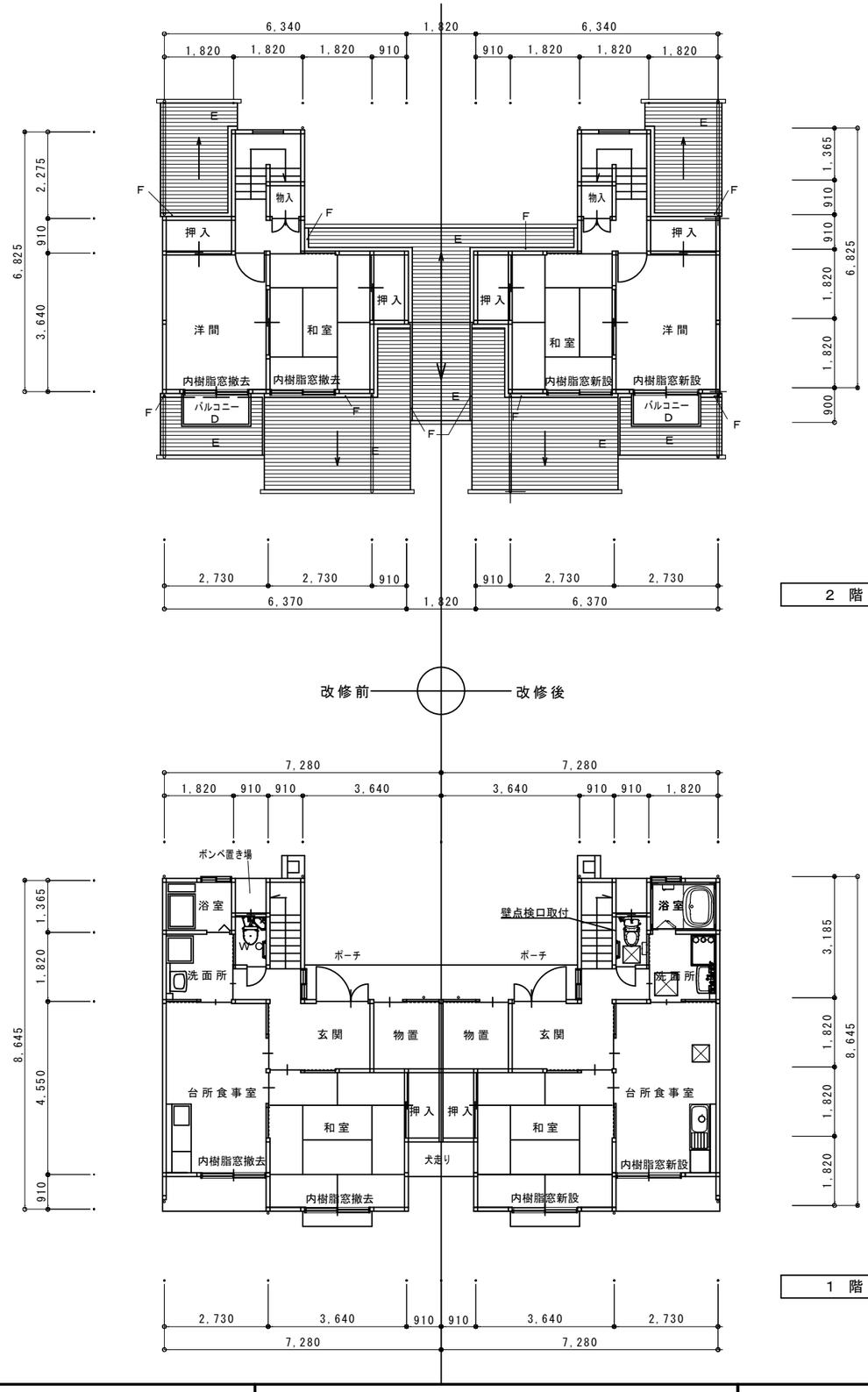


配　置　図　S=1/300



外灯（ポール）　S=1:30

工事名	設計事務所	許可・登録	検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（1・2号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北1丁目19番14号　TEL 019－635－7801　FAX 019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大久保貞輔				付近見取図，配置図 外灯（ポール）改修詳細図（2，3号棟）	S=1/300 S=1/30	R6.07	A-06／A-21 枚の内



2 階 平 面 図　S=1/100

1 階 平 面 図　S=1/100

外部床・屋根等仕上表

	既存		撤去	改修
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40mm	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40mm	○	同 上
水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板 ア0.40mm 等	○	同 上

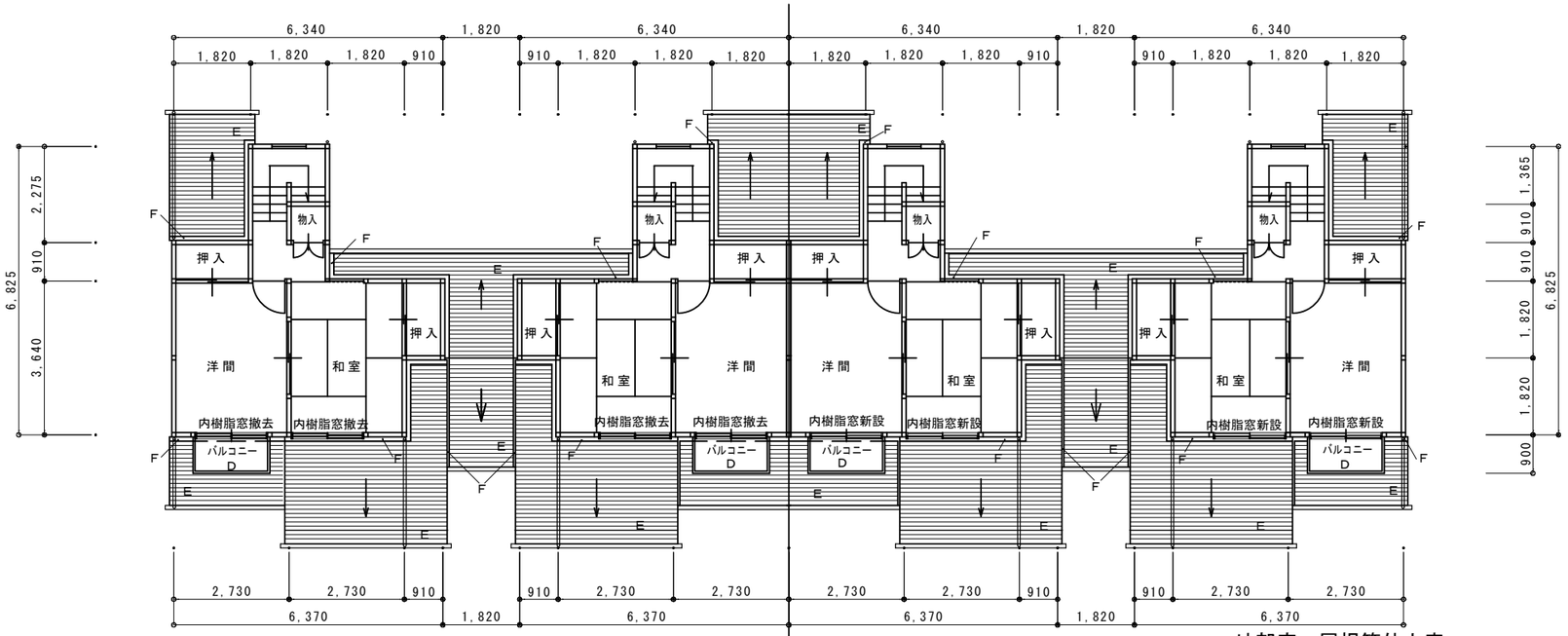
内部・ユニット等 仕上表

	既存	撤去
キッチン（建築）	流し台 W1200×D550 水切り棚 W600×H500×D200 コンロ台 W1200×D550 吊戸棚 W1200×H550×D350	○
	レンジフード	○
キッチン（機械設備）	瞬間湯沸器（取付板） 換気扇 外部フード他 シングルレバー混合水栓	○
洗面・脱衣	洗面化粧台 W=600×H1760（水栓共） タオル掛け （取外し・再取付）	○
	洗濯機パン（機械設備）同左水栓（残置）	○
浴室	浴槽（ポリバス）バランス釜（機械設備） 鏡（機械設備） 手摺（機械設備）	○
	排水用目皿（機械設備）	○
ＷＣ（機械設備）	腰掛便器・タンク・紙巻器等	○

内部・ユニット等 仕上表

	改修
キッチン（建築）	流し台 W1200×D550 シングルレバー混合水栓 コンロ台 W1200×D550 吊戸棚 W1200×H550×D350
	水切り棚 W600×H500×D200 レンジフード
キッチン（機械設備）	換気扇 外部フード他 シングルレバー混合水栓
洗面・脱衣（建築）	洗面化粧台 W=750×H1780（水栓共） タオル掛け （取外し・再取付）
洗面・脱衣（機械設備）	洗濯機パン 同左水栓（残置）
浴室（建築）	ユニットバス（1216）別図参照
浴室（建築）（電気・機械設備）	ユニットバス 関連工事
ＷＣ（機械設備）	腰掛便器・タンク・紙巻器等
⊠ ⊠	床下点検口450角（アルミ製）、同600角（アルミ製）
ＷＣ	壁点検口 600角（アルミ製）

工事名			検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号 TEL 019−635−7801 FAX 019−635−7830	岩手県知事登録 第く(2612)496号 一級建築士登録 第77108号 大久保 貞輔				１号棟 平面図 既存、改修 仕上表	S=1/100	R6.07	A-07 / A-21 枚の内



2 階 平 面 図　S=1/100

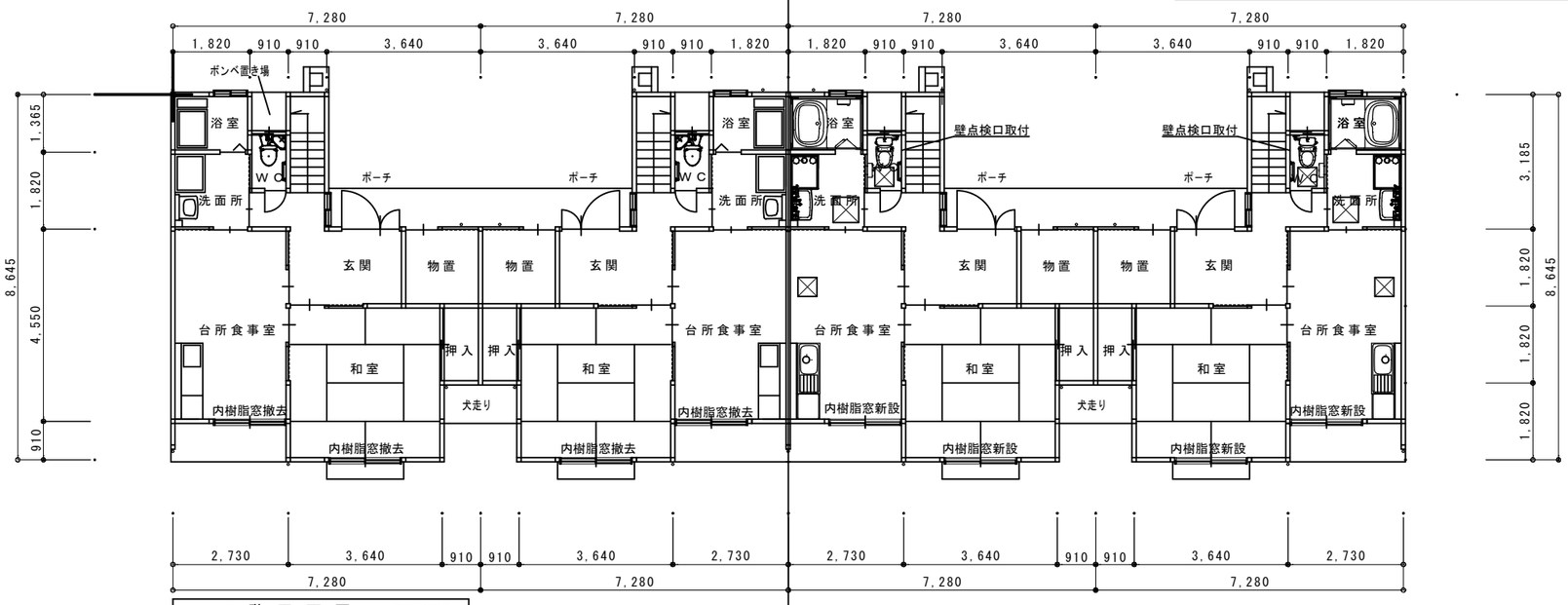
改修前　改修後

内部・ユニット等　仕上表

	既存	撤去
キッチン（建築）	流し台　W1200×D550　水切り棚　W600×H500×D200 コンロ台　W1200×D550　吊戸棚　W1200×H550×D350	○
	レンジフード	○
キッチン（機械設備）	瞬間湯沸器（取付板）　換気扇　外部フード他 シングルレバー混合水栓	○
洗面・脱衣	洗面化粧台　W=600×H1760（水栓共） タオル掛け　（取外し・再取付）	○
	洗濯機パン（機械設備）同左水栓（残置）	○
浴室	浴槽（ポリバス）バランス釜（機械設備） 鏡（機械設備）　手摺（機械設備）	○
	排水用目皿（機械設備）	○
ＷＣ（機械設備）	腰掛便器・タンク・紙巻器等	○

外部床・屋根等仕上表

	既存		撤去	改修
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40mm	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40mm	○	同　上
水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板　ア0.40mm　等	○	同　上

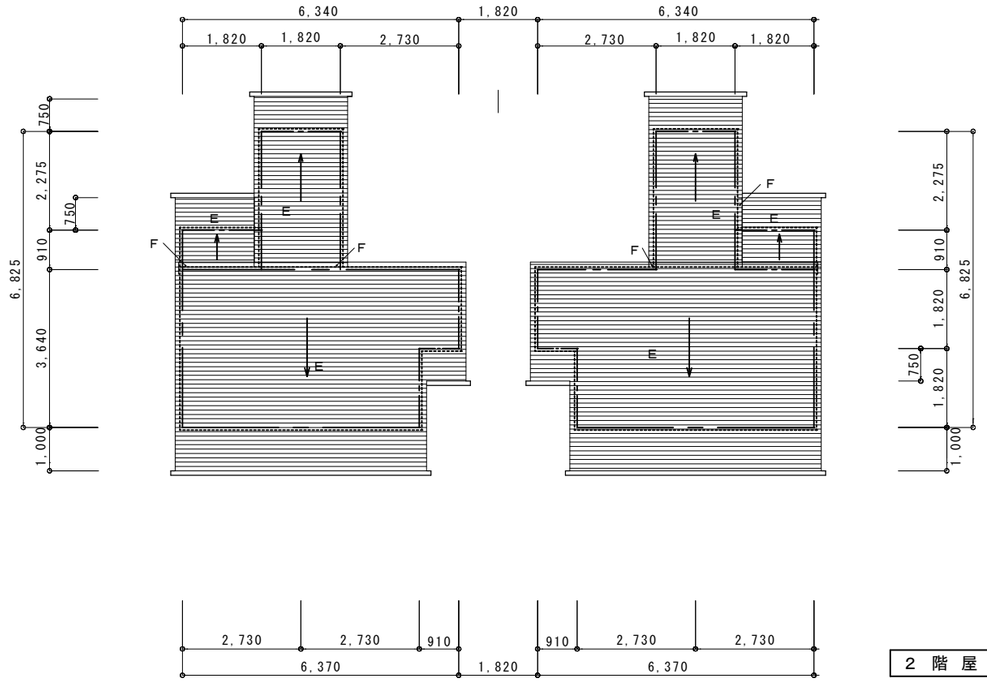


1 階 平 面 図　S=1/100

内部・ユニット等　仕上表

	改修
キッチン（建築）	流し台　W1200×D550　シングルレバー混合水栓 コンロ台　W1200×D550　吊戸棚　W1200×H550×D350
	水切り棚　W600×H500×D200 レンジフード
キッチン（機械設備）	換気扇　外部フード他 シングルレバー混合水栓
洗面・脱衣（建築）	洗面化粧台　W=750×H1780（水栓共） タオル掛け　（取外し・再取付）
洗面・脱衣（機械設備）	洗濯機パン　同左水栓（残置）
浴室（建築）	ユニットバス（1216）別図参照
浴室（建築）（電気・機械設備）	ユニットバス　関連工事
ＷＣ（機械設備）	腰掛便器・タンク・紙巻器等
☒　☒	床下点検口450角（アルミ製）、同600角（アルミ製）
ＷＣ	壁点検口　600角（アルミ製）

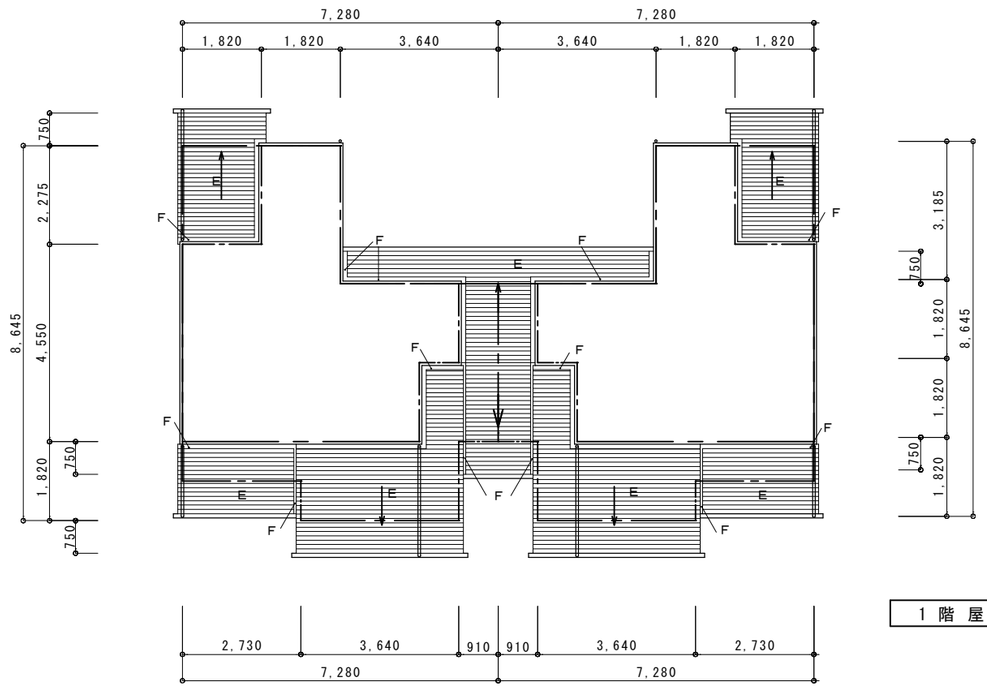
工事名	設計事務所	許可・登録	検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019−635−7801　FAX 019−635−7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大久保貞輔				２号棟・３号棟　平面図 既存、改修　仕上表	S=1/100	R6.07	A-08／A-21 枚の内



2 階 屋 根 伏 図　　S=1/100

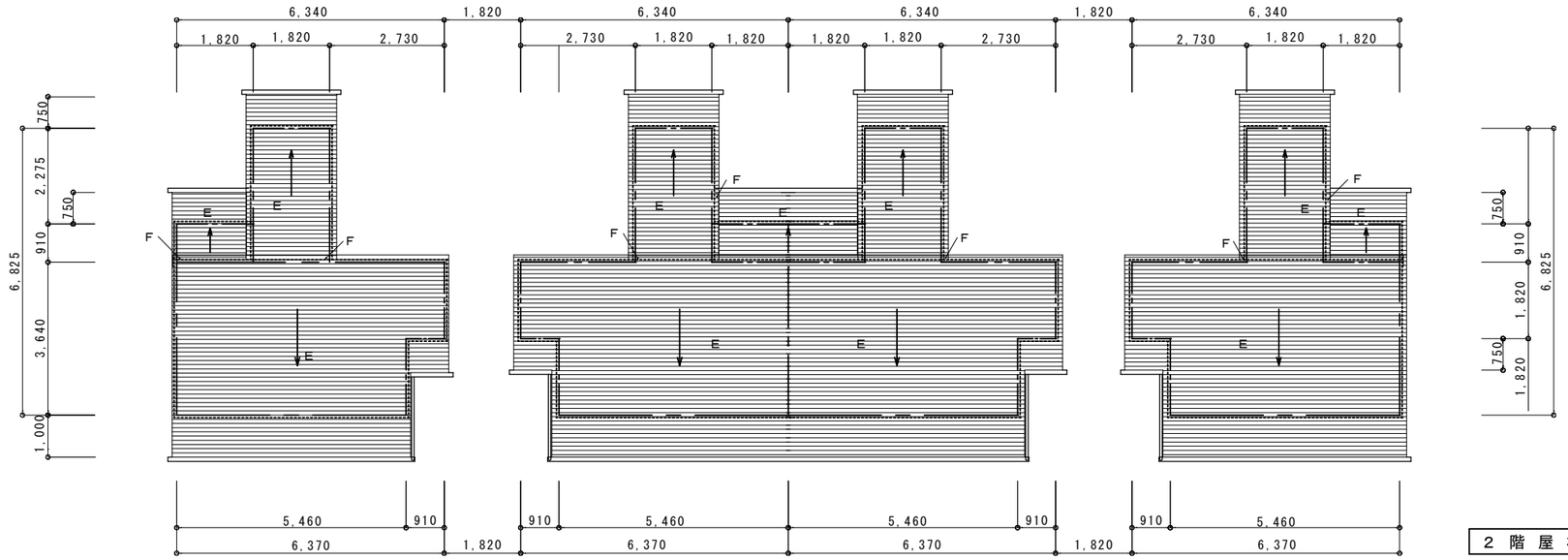
外部床・屋根等仕上表

	既存		撤去	改修
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40mm	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40mm	○	同　上
水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板　ア0.40mm　等	○	同　上



1 階 屋 根 伏 図　　S=1/100

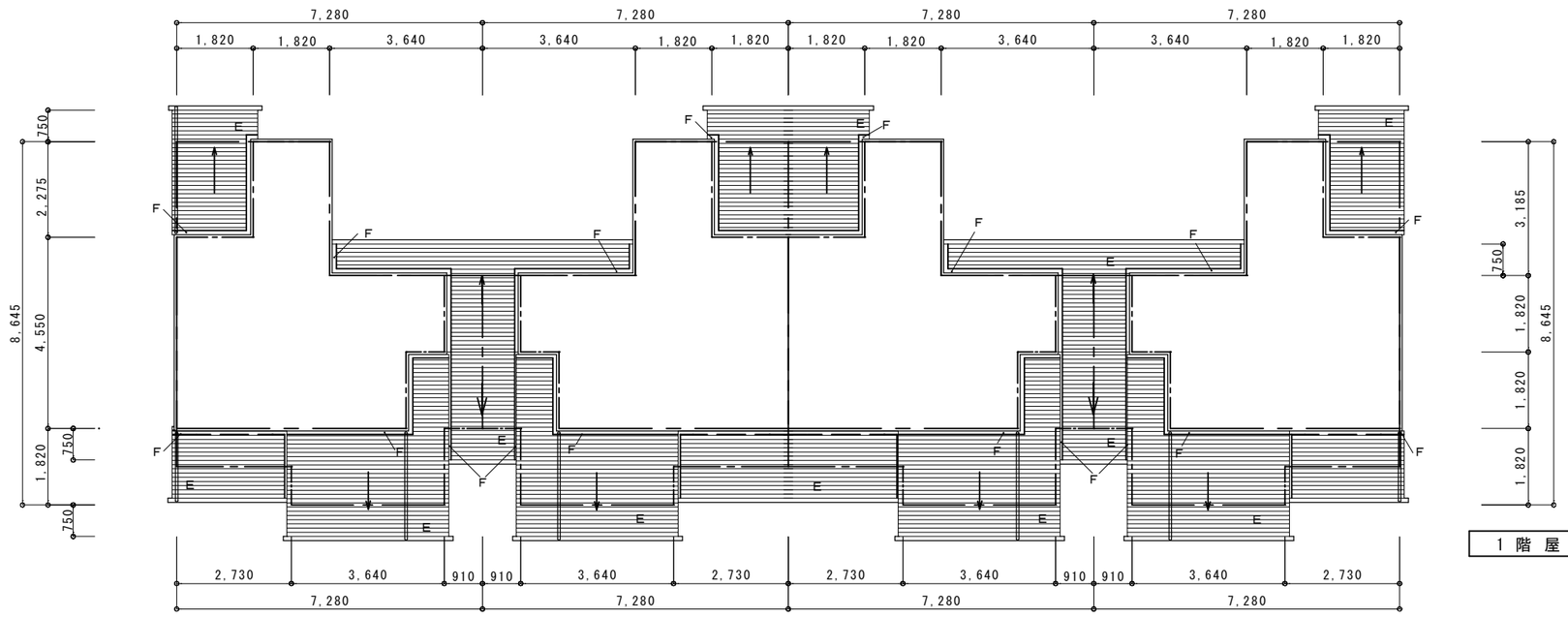
工　事　名									
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ 019－635－7801　ＦＡＸ 019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大 久 保 貞 輔	検　図	製　図	特　記	図面内容 １号棟　屋根伏図 既存、改修　仕上表	縮　尺 S=1/100	年月日 R6.07	番　号 A-09／A-21 枚の内



2 階 屋 根 伏 図　　S=1/100

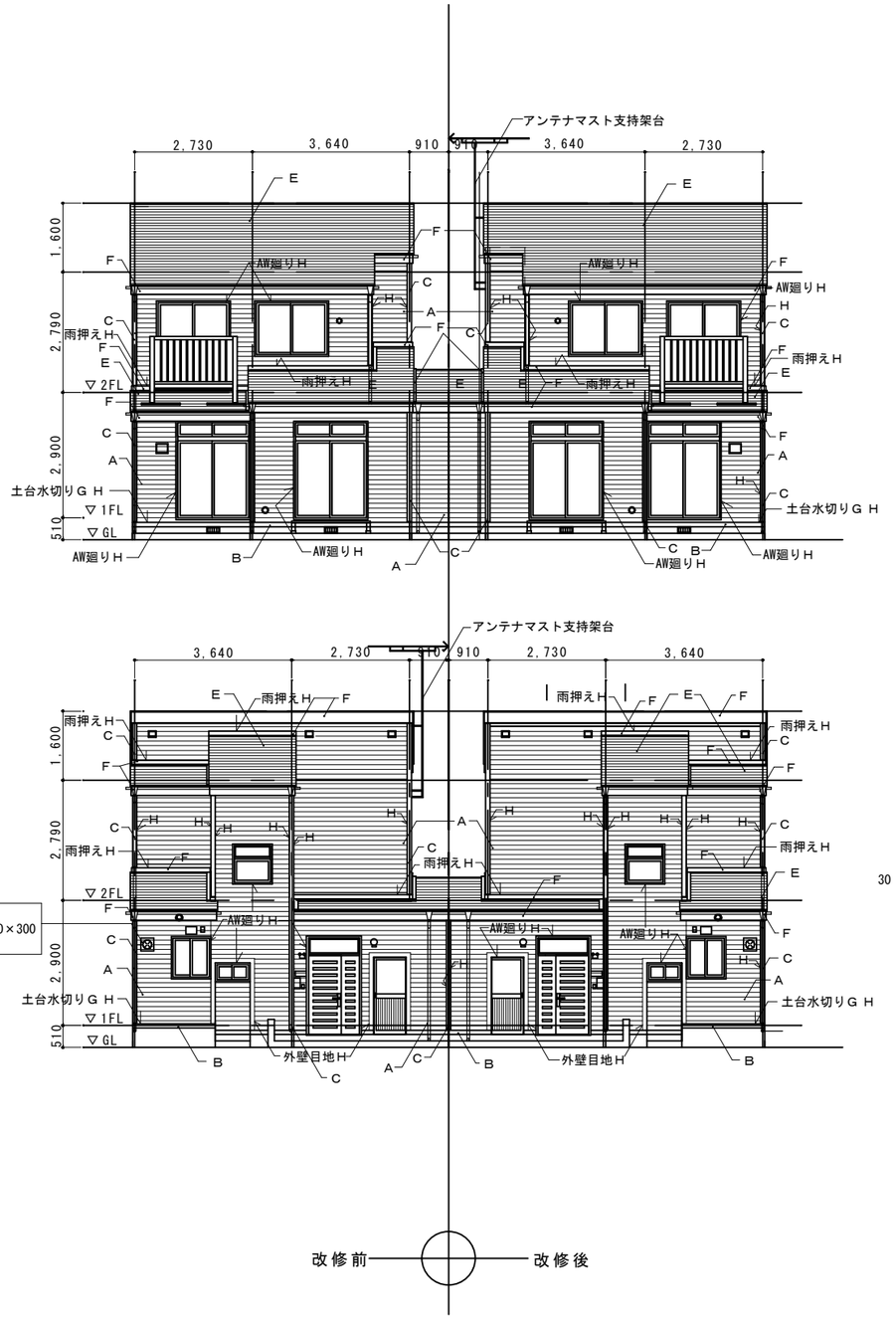
外部床・屋根等仕上表

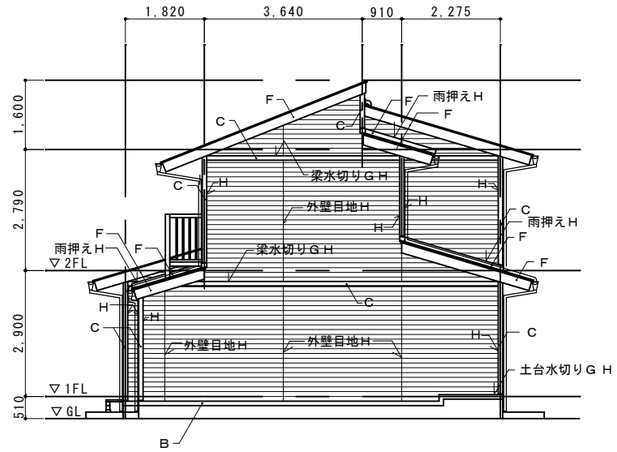
	既存		撤去	改修
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40㎜	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40㎜	○	同 上
水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板 ア0.40㎜ 等	○	同 上

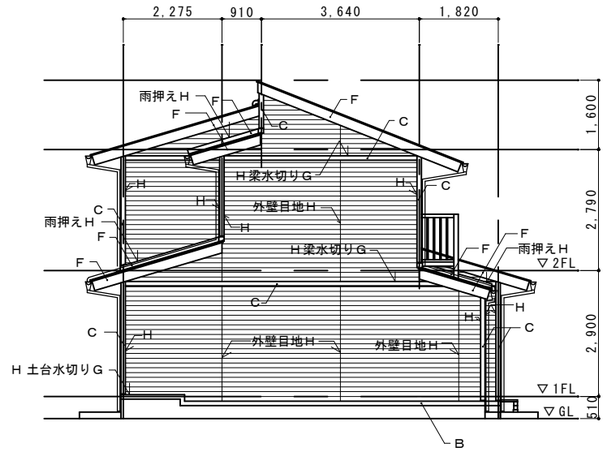


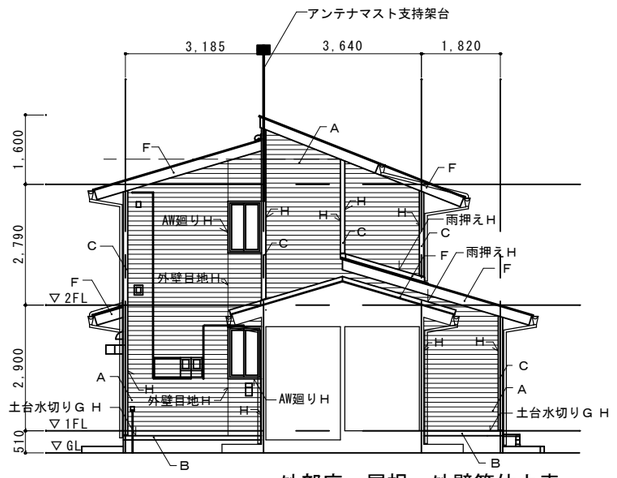
1 階 屋 根 伏 図　　S=1/100

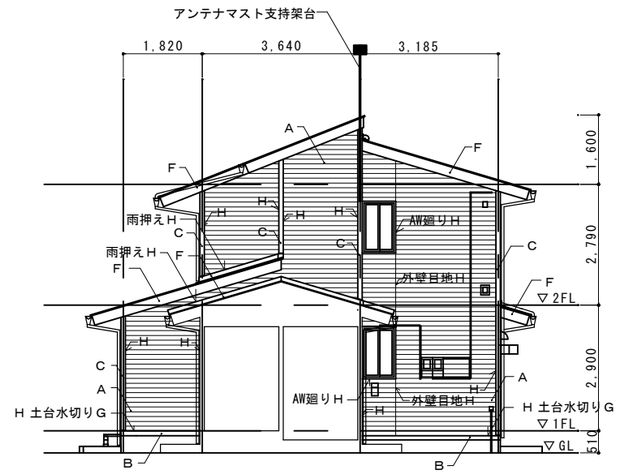
工事名			検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019−635−7801　FAX 019−635−7830	岩手県知事登録 第く(2612)496号 一級建築士登録 第77108号 大久保 貞輔				２号棟・３号棟 屋根伏図 既存、改修 仕上表	S=1/100	R6.07	A-10／A-21 枚の内











既存開口部塞ぎ　各戸共通

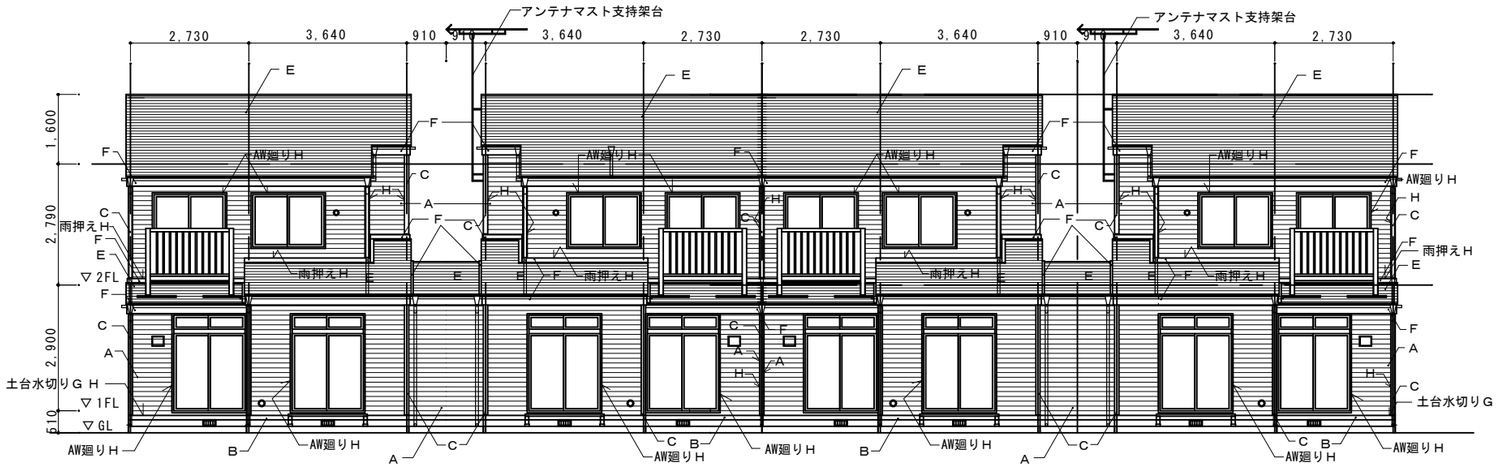
SUS304 ア1.0mm300×300
珪酸カルシウム板 ア6.0mm300×300
シーリング 10×10（MS-2）

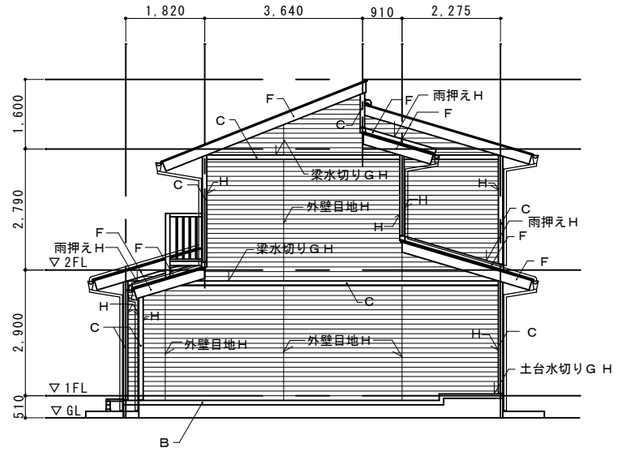
30

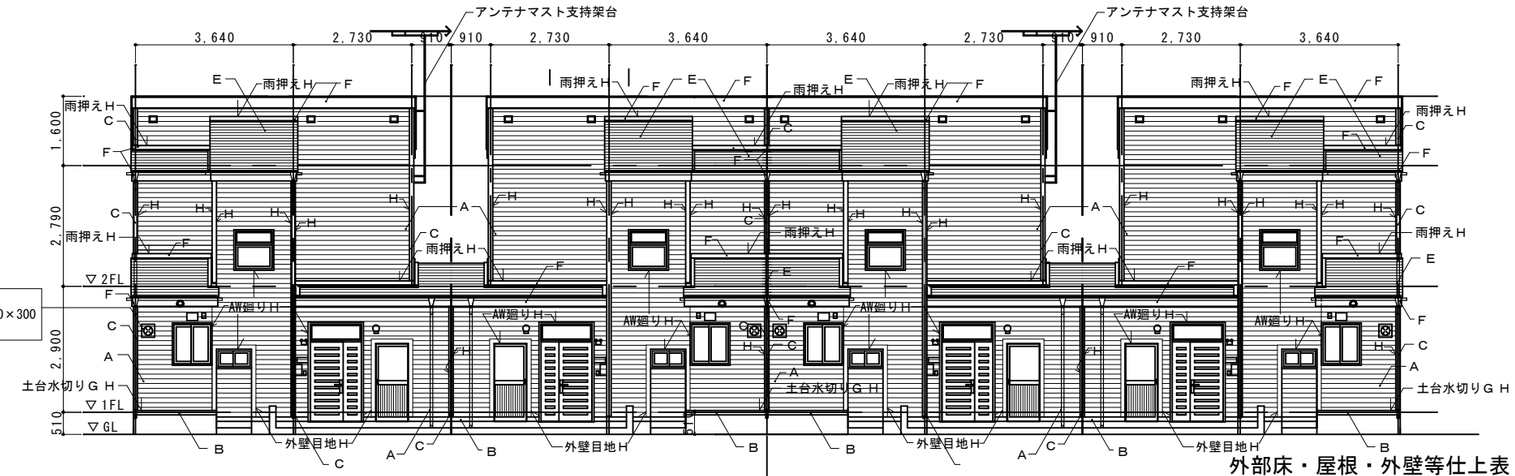
外部床・屋根・外壁等仕上表

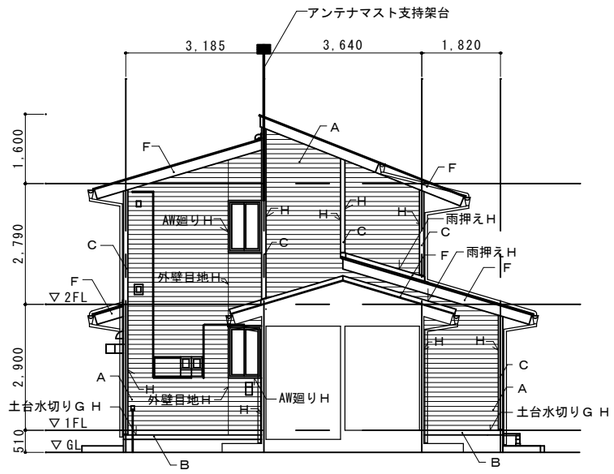
	既存		撤去	改修
外壁	A	石綿セメント珪酸カルシウム板横張り ア12mm（めどめ品）アクリルリシン吹付仕上	○	下地処理（RB種）改修仕様 超低汚染型ふっ素樹脂塗料　改修仕様（薄付け）水性セラタイトＦ程度
付け土台	B	木 22×150　キシラデコール塗り	／	キシラデコール塗り
付け柱・梁	C	木 22×105　オイルステイン塗り	／	オイルステイン塗り
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40mm	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40mm	○	同　上
破風・水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板　ア0.40mm　等	○	同　上
外壁シーリング	H	シーリング	○	既存（外壁目地・サッシュ周囲）シーリング除去 外壁部シーリング（PU-2）、開口部廻り（MS-2）新設

工　事　名								
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ　019－635－7801　ＦＡＸ　019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記	図面内容 １号棟　立　面　図 既存、改修　仕上表	縮　尺 S=1/100	年月日 R6.07	番　号 A-11／A-21 枚の内









既存開口部塞ぎ　各戸共通

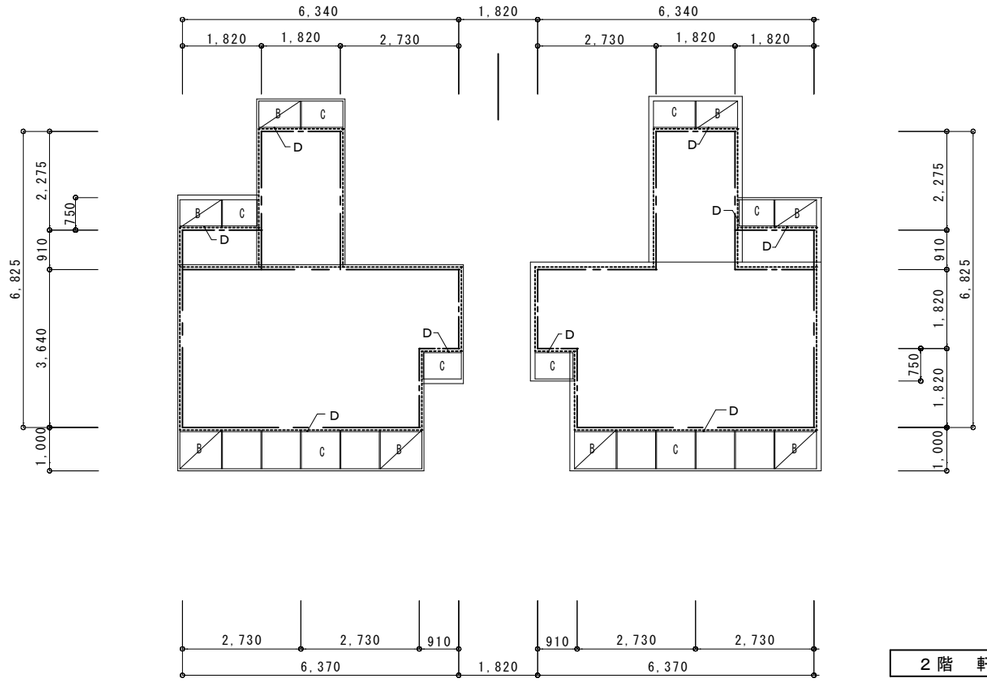
SUS304 ア1.0mm300×300
珪酸カルシウム板 ア6.0mm300×300
シーリング 10×10 (MS-2)

改修前 ―― 改修後

外部床・屋根・外壁等仕上表

	既存		撤去	改修
外壁	A	石綿セメント珪酸カルシウム板横張り ア12mm （めどめ品）アクリルリシン吹付仕上	○	下地処理（RB種）改修仕様 超低汚染型ふっ素樹脂塗料　改修仕様（薄付け） 水性セラタイトＦ程度
付け土台	B	木 22×150　キシラデコール塗り	／	キシラデコール塗り
付け柱・梁	C	木 22×105　オイルステイン塗り	／	オイルステイン塗り
バルコニー床	D	樹脂パネル	○	樹脂パネル撤去の上、樹脂パネル新設
屋根	E	カラー鉄板 ア0.40mm	○	下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上 変性エポキシ樹脂プライマー（B種） 耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）
雨押え	F	カラー鉄板 ア0.40mm	○	同　上
破風・水切り・外部鉄部	G	カラー鉄板　ア0.40mm　等	○	同　上
外壁シーリング	H	シーリング	○	既存（外壁目地・サッシュ周囲）シーリング除去 外壁部シーリング（PU-2）、開口部廻り（MS-2）新設

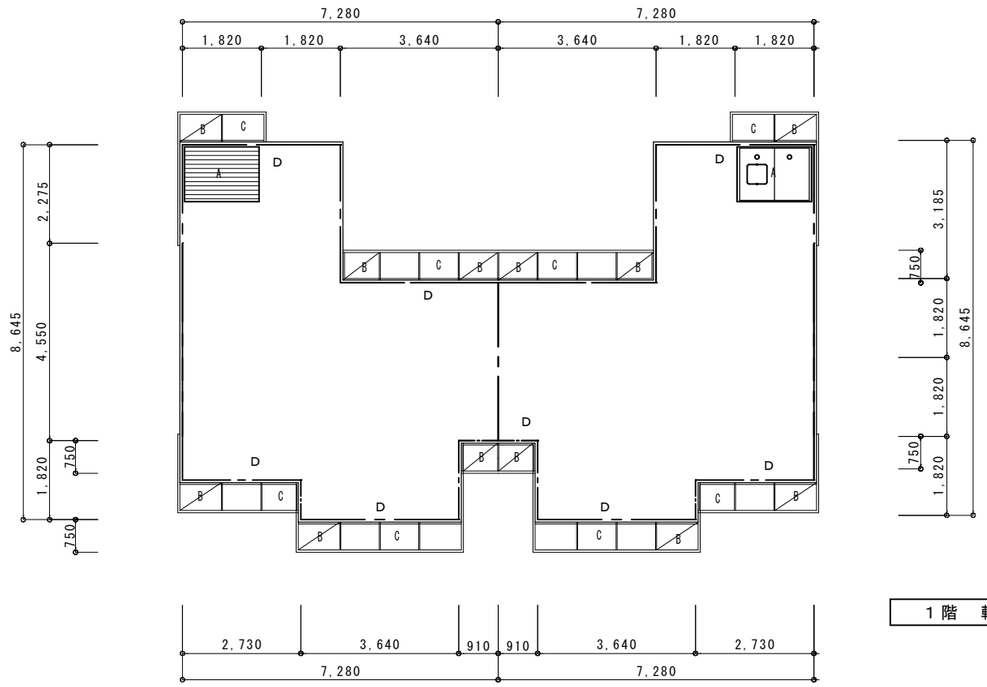
工　事　名			検　図	製　図	特　記	図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ 019－635－7801　ＦＡＸ 019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔				２号棟・３号棟　立　面　図 既存、改修　仕上表	S=1/100	R6.07	A-12／A-21 枚の内



２階　軒天伏図　　S=1/100

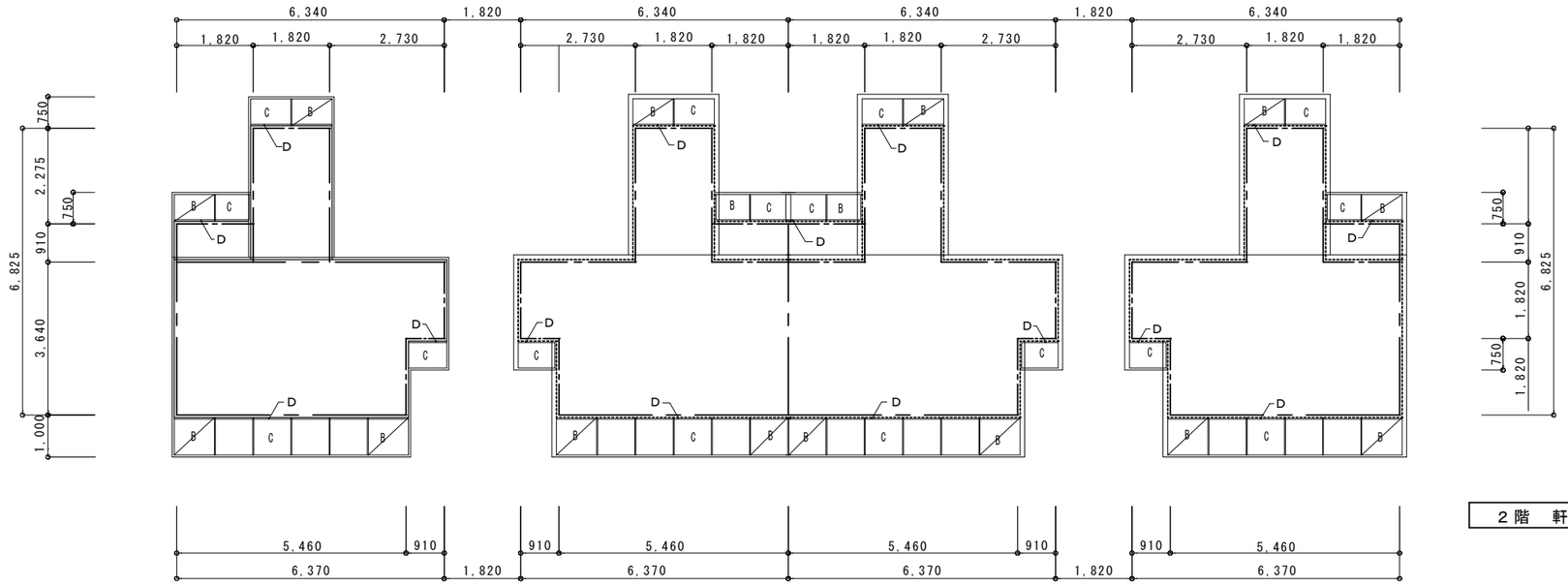
天上等仕上表

	既存		撤去	改修
天井	A	バスリブ（準不燃認定品）　残置	／	ユニットバス　新設
軒天井	B	フレキシブルボード ア5mm下地　目透かし張り VP	○	既存塗膜除去（RB種） 下地処理（RB種）EP塗装
	C	有孔フレキシブルボード ア5mm下地　目透かし張り VP	○	既存塗膜除去（RB種） 下地処理（RB種）EP塗装
軒天廻り縁	D	木 36×36　オイルステイン塗り	／	オイルステイン塗り



１階　軒天伏図　　S=1/100

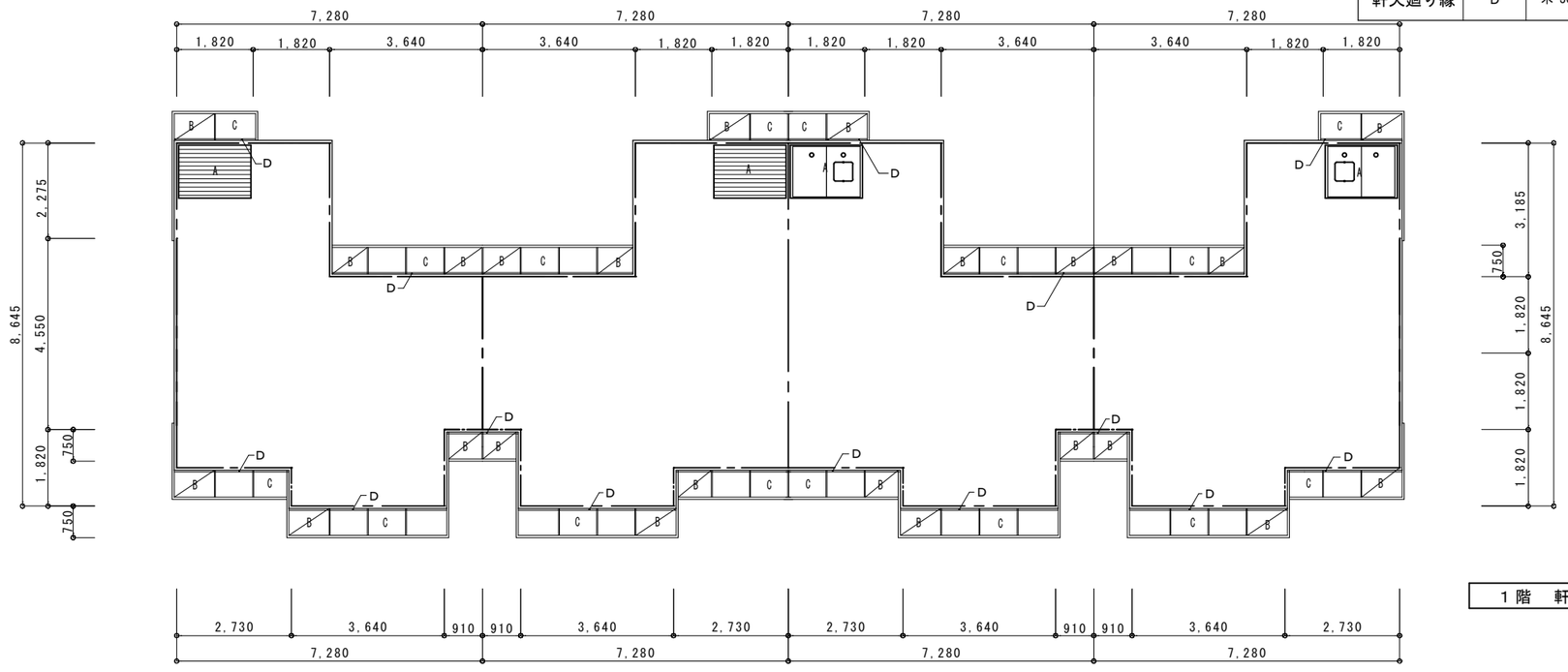
工　事　名									
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ 019－635－7801　ＦＡＸ 019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記	図面内容 １号棟　軒天伏図 既存、改修　仕上表	縮　尺 S=1/100	年月日 R6.07	番　号 A-13／A-21 枚の内



２階　軒天伏図　　S=1/100

天上等仕上表

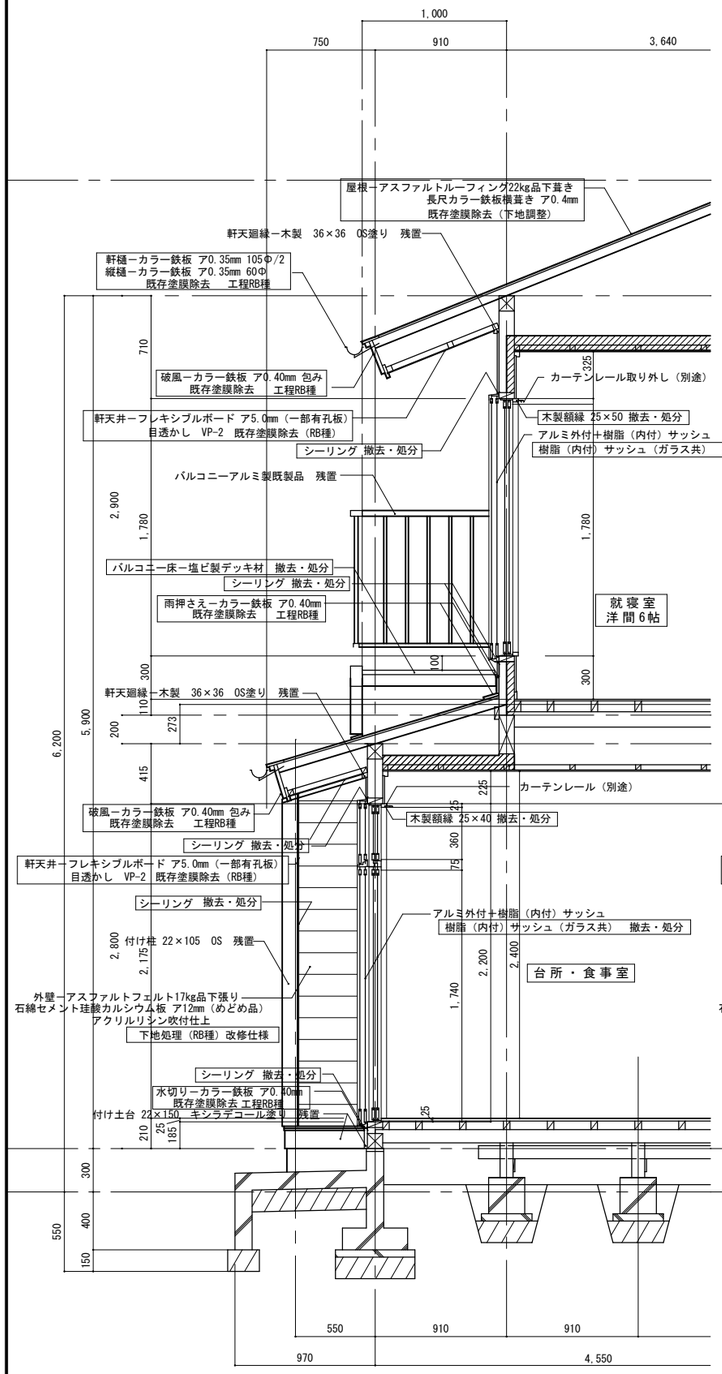
	既存		撤去	改修
天井	A	バスリブ（準不燃認定品）　残置	／	ユニットバス　新設
軒天井	B	フレキシブルボード ア5mm下地　目透かし張り VP	○	既存塗膜除去（RB種） 下地処理（RB種）EP塗装
	C	有孔フレキシブルボード ア5mm下地　目透かし張り VP	○	既存塗膜除去（RB種） 下地処理（RB種）EP塗装
軒天廻り縁	D	木 36×36　オイルステイン塗り	／	オイルステイン塗り



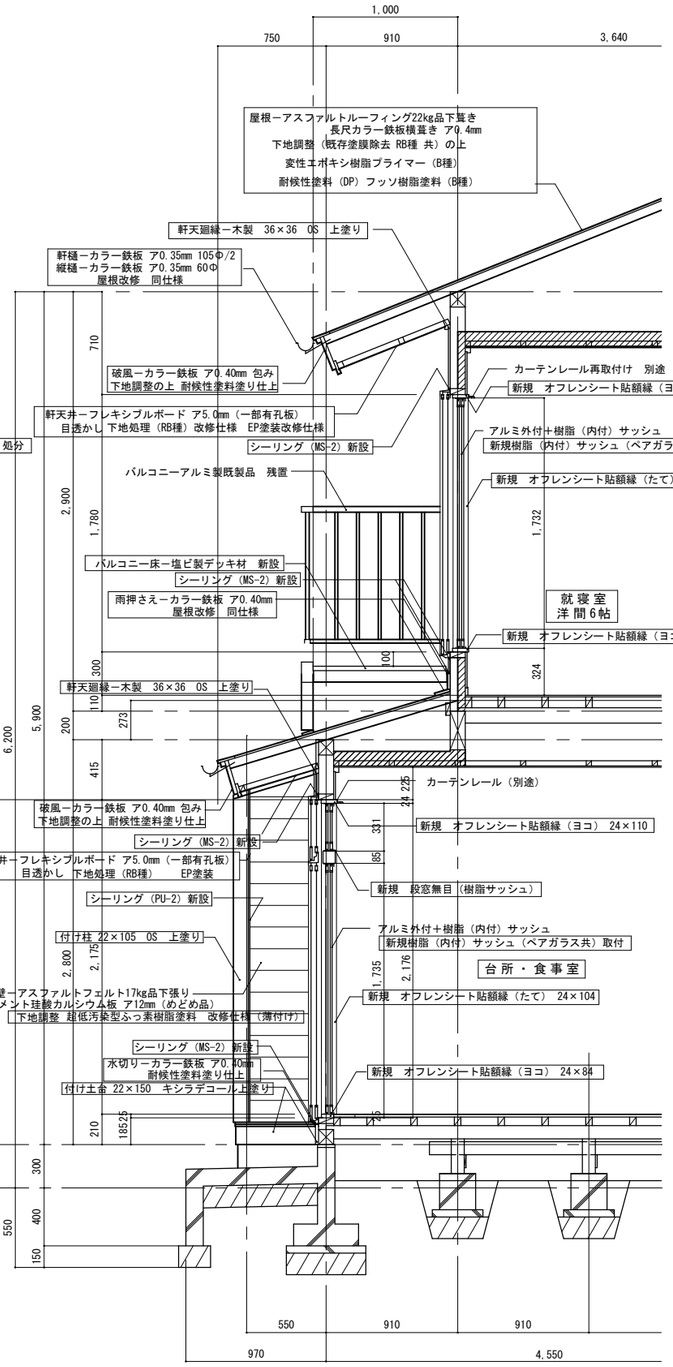
１階　軒天伏図　　S=1/100

工　事　名							図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019−635−7801　FAX 019−635−7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記		２号棟・３号棟　軒天伏図 既存、改修　仕上表	S=1/100	R6.07	A-14／A-21 枚の内

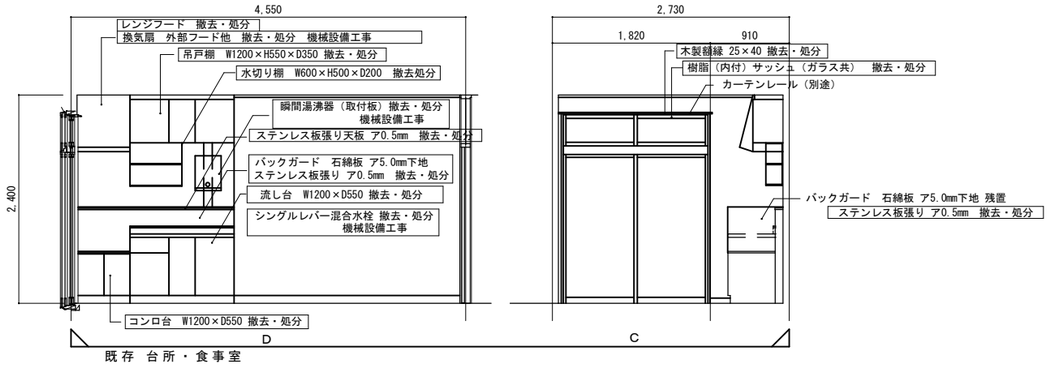
下地調整（既存塗膜除去 RB種 共）の上
変性エポキシ樹脂プライマー（B種）
耐候性塗料（DP）フッソ樹脂塗料（B種）



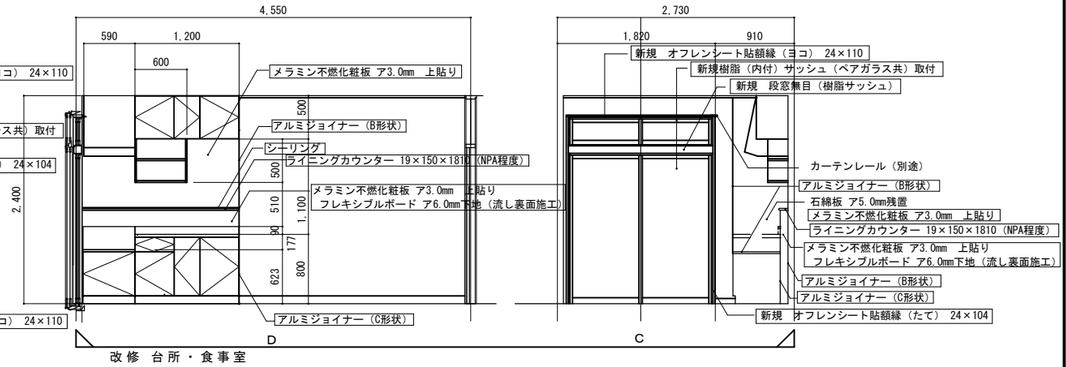
既存断面詳細図１ S=1:30



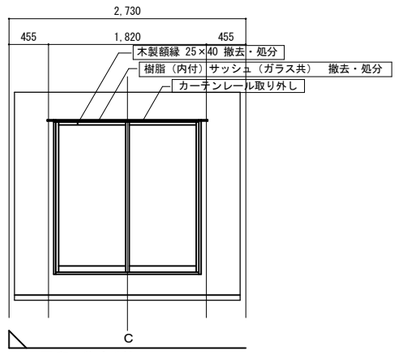
改修断面詳細図１ S=1:30



既存 台所・食事室



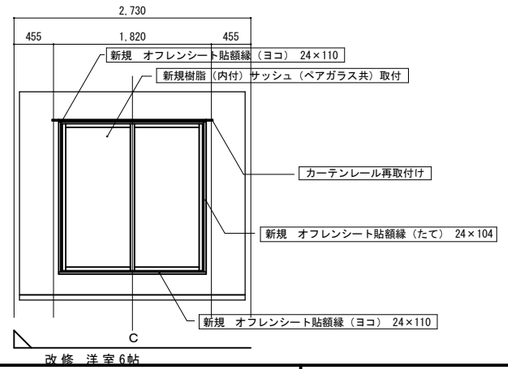
改修 台所・食事室



既存 洋室6帖

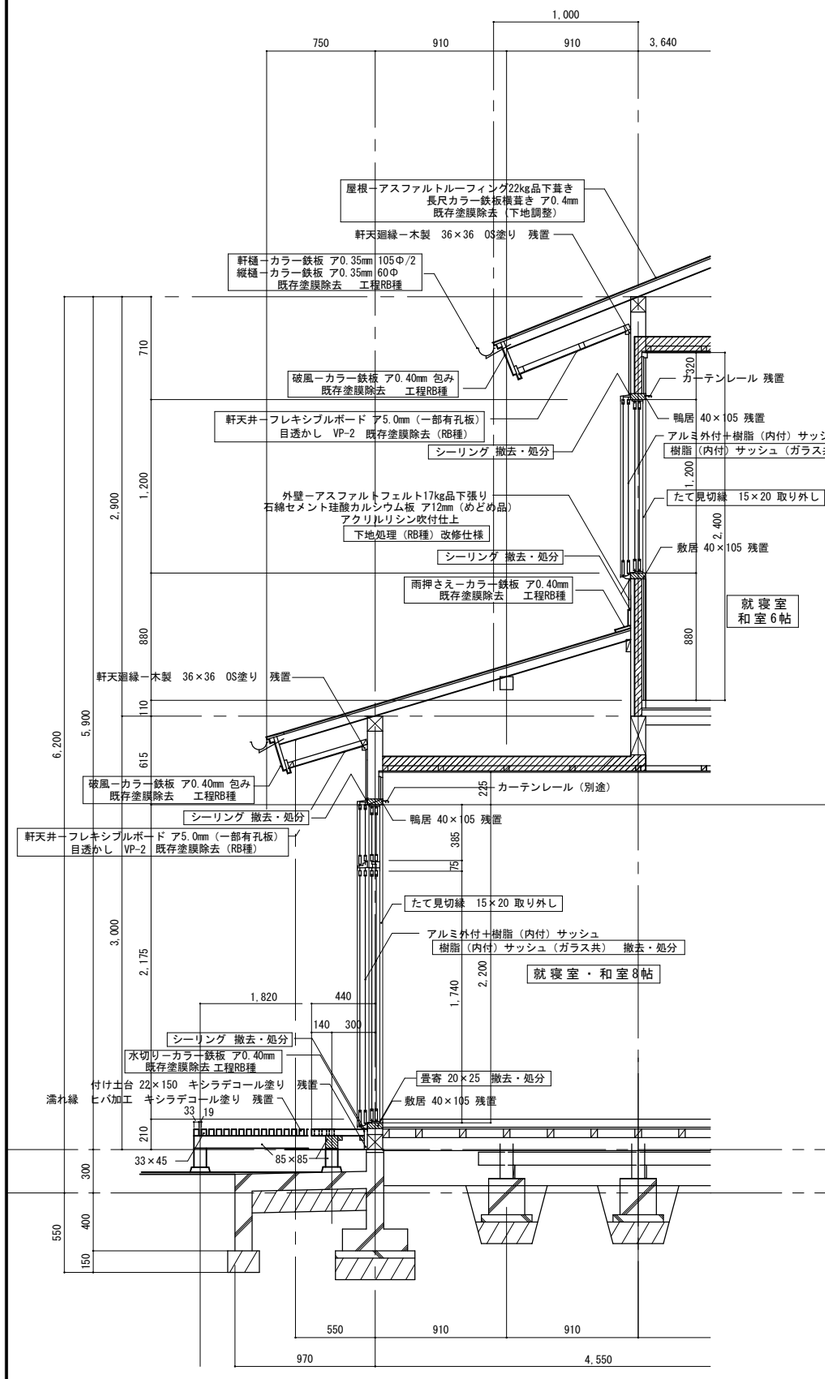
キッチンセット（参考仕様）

流し台 1200×550×800（BL認定品）
コンロ台 600×550×623（BL認定品）
コンロ用バックガード（BL認定品）
サイドカバー（BL認定品）
吊戸棚 1200×500×367（BL認定品）
レンジフード 600×590×700（換気扇・換気用品 機械設備工事）
水切り棚（2段）600×235×500）

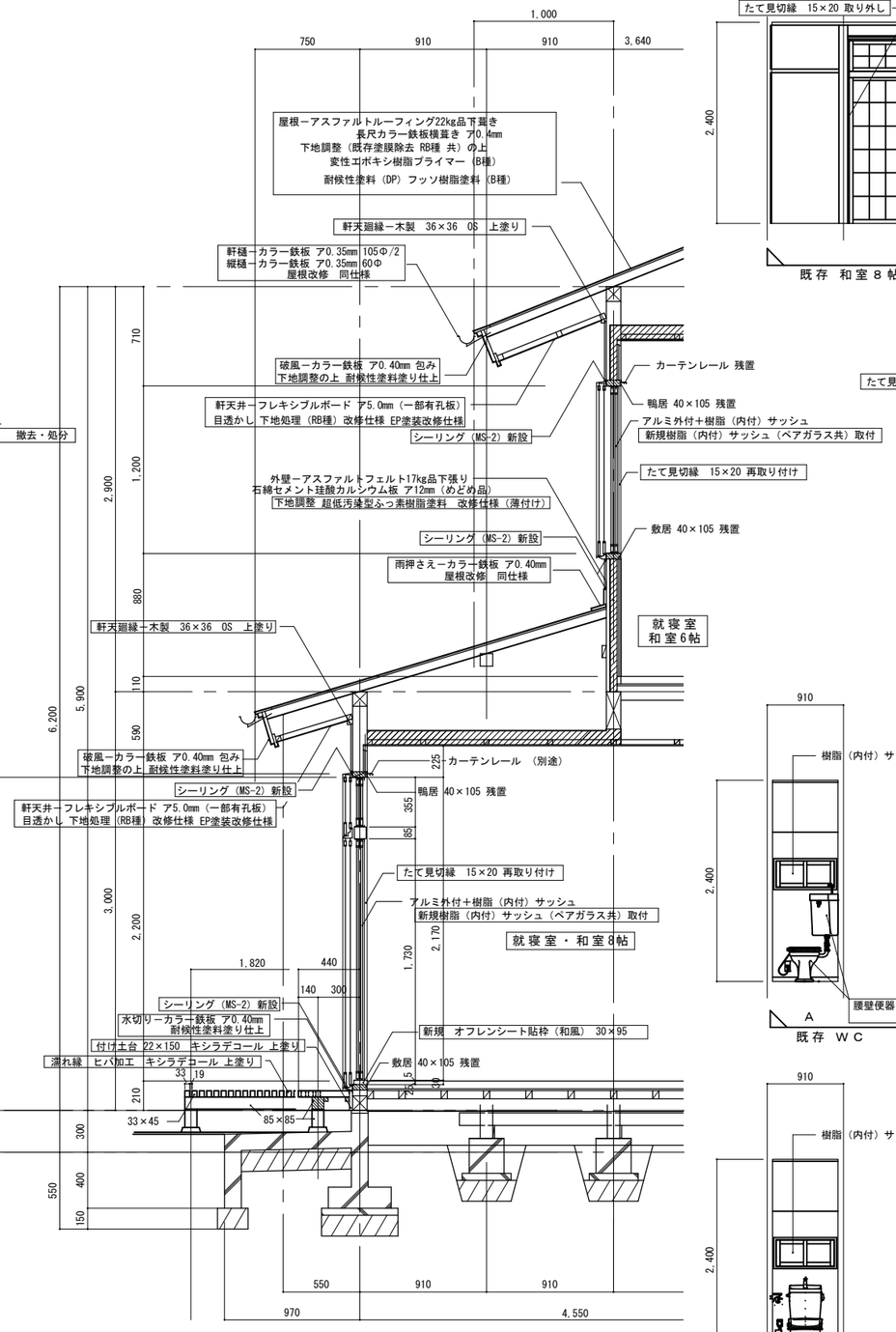


改修 洋室6帖

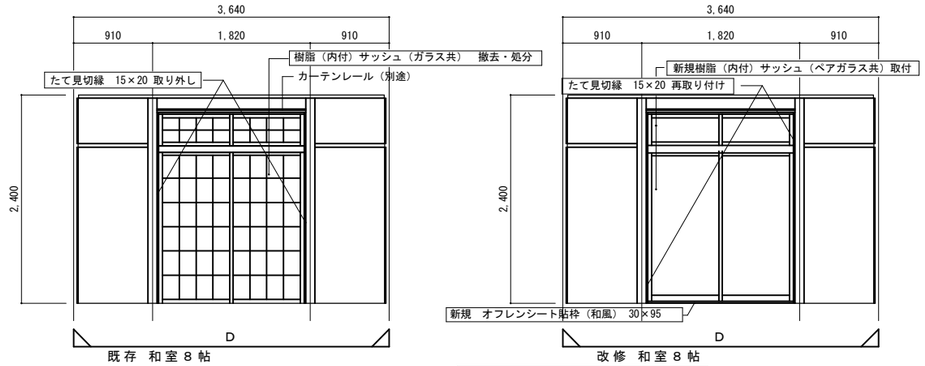
工事名								
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号 TEL 019−635−7801 FAX 019−635−7830	岩手県知事登録 第く(2612)496号 一級建築士登録 第77108号 大久保 貞輔	検図	製図	特記	図面内容 既存・改修 断面詳細図 既存・改修 展開図（台所 食事室）	縮尺 S=1/30 S=1/50	年月日 R6.07	番号 A-15／A-21 枚の内

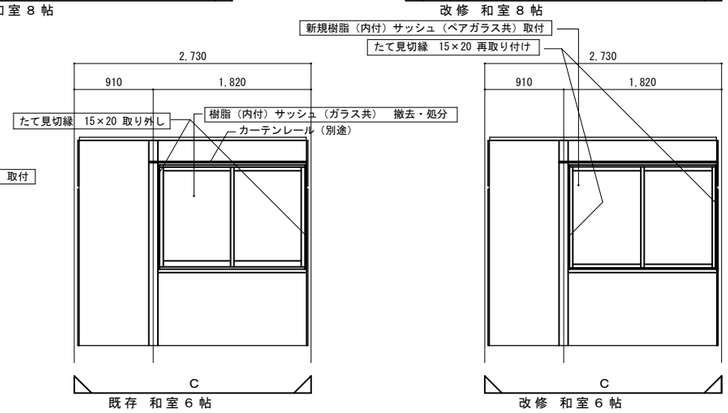


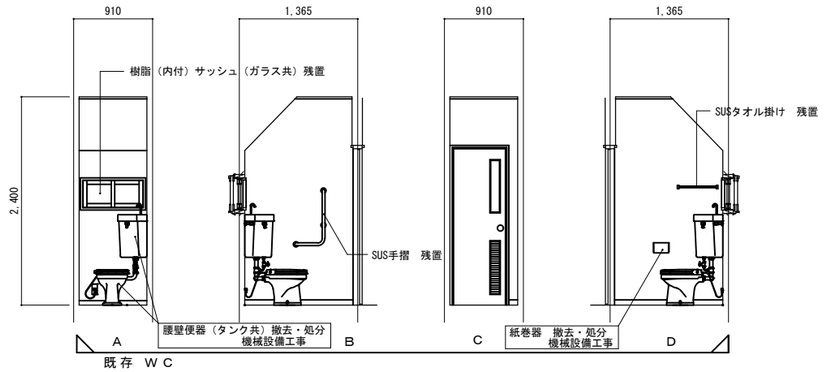
既存断面詳細図１ S=1:30

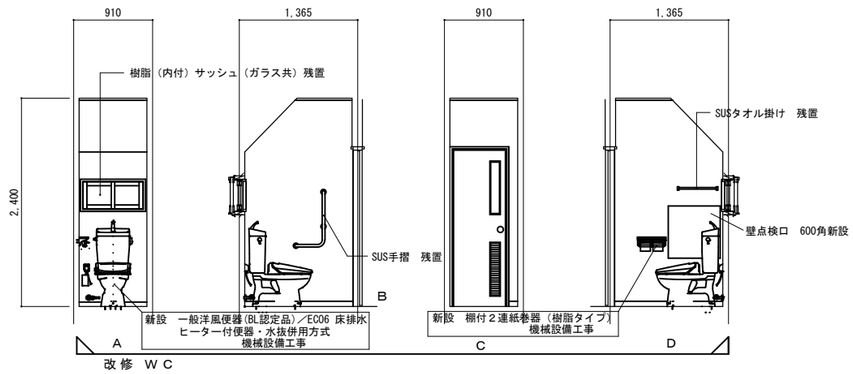


改修断面詳細図１ S=1:30

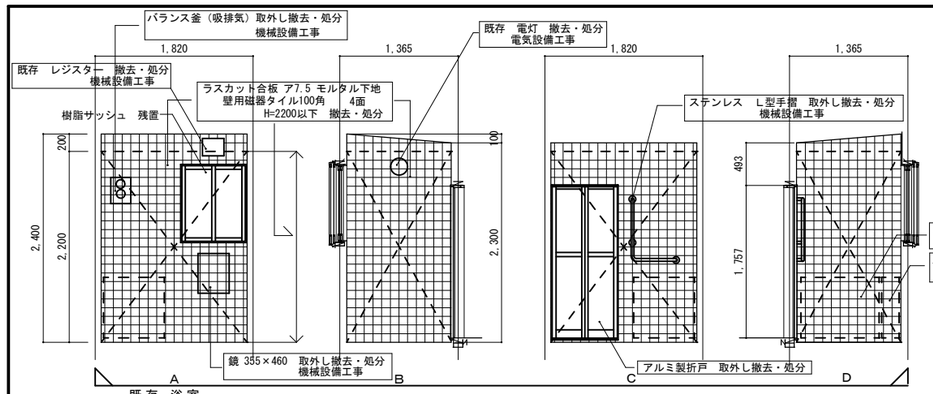




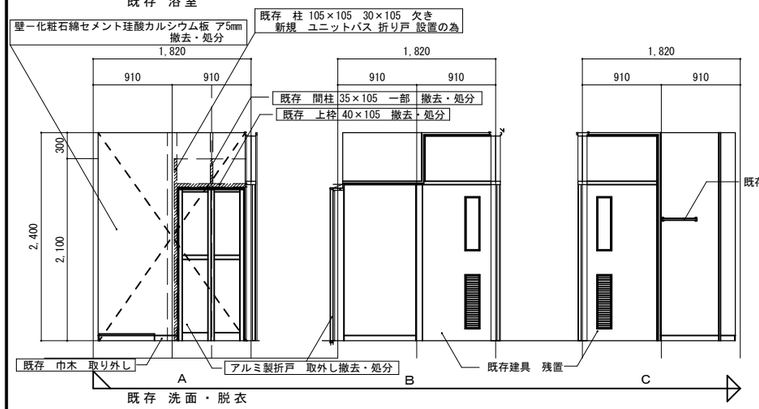




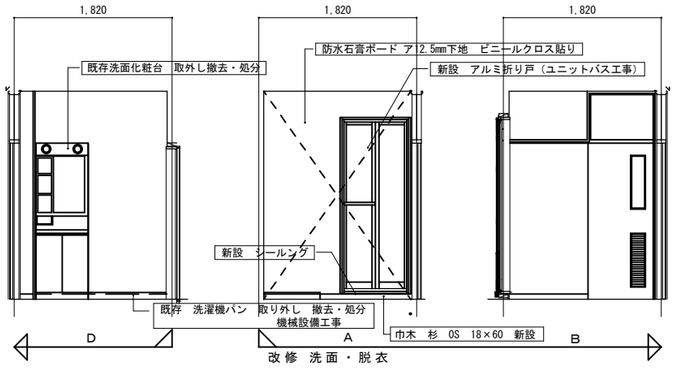
工事名			検図	製図	特記	図面内容	縮尺	年月日	番号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号 TEL 019−635−7801 FAX 019−635−7830	岩手県知事登録 第く(2612)496号 一級建築士登録 第77108号 大久保貞輔				既存・改修 断面詳細図 既存・改修 展開図（和室8帖・和室6帖・WC）	S=1/30 S=1/50	R6.07	A-16／A-21 枚の内



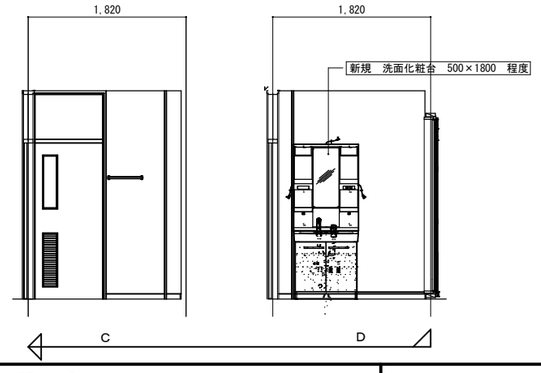
既存　浴室

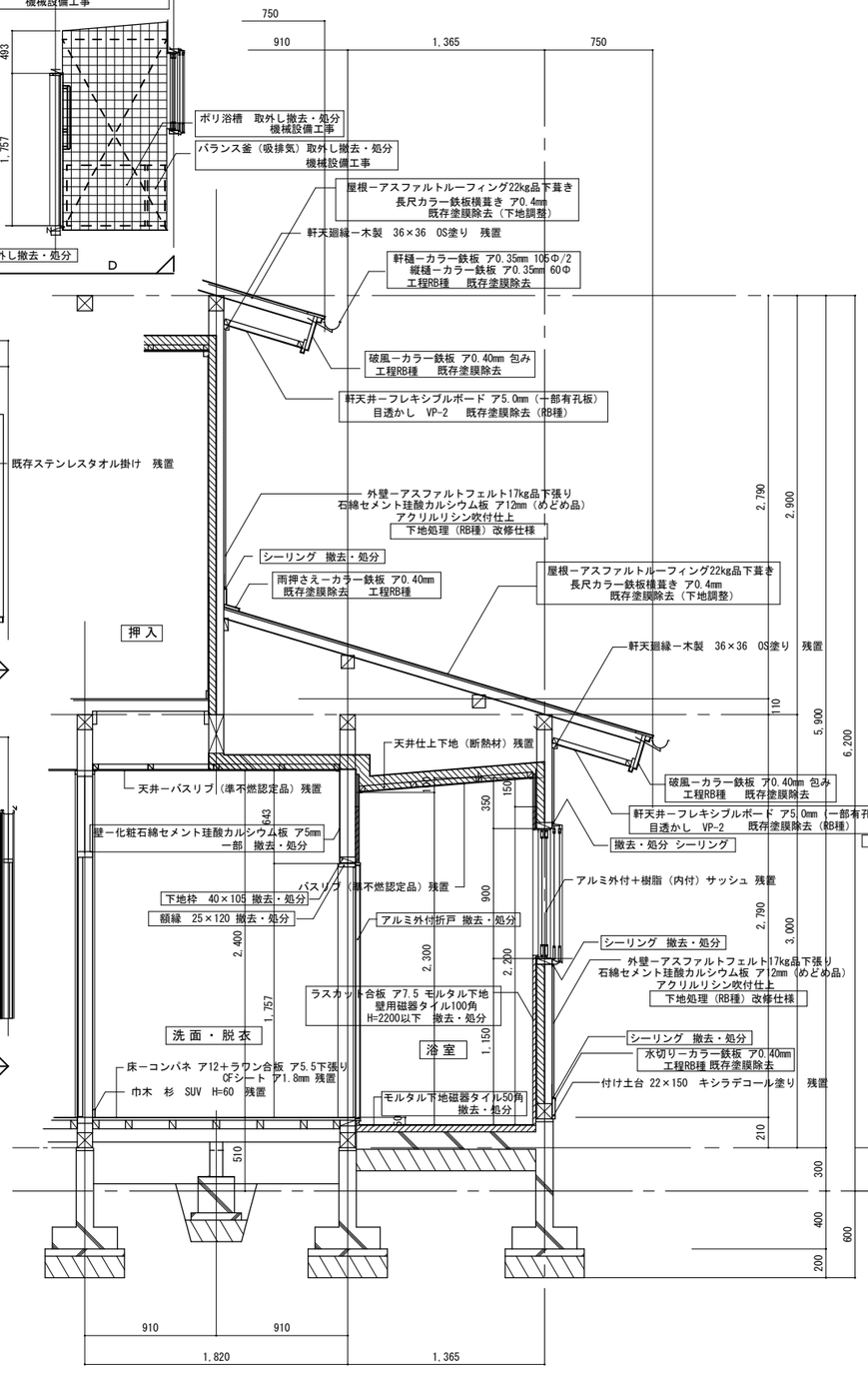


既存　洗面・脱衣

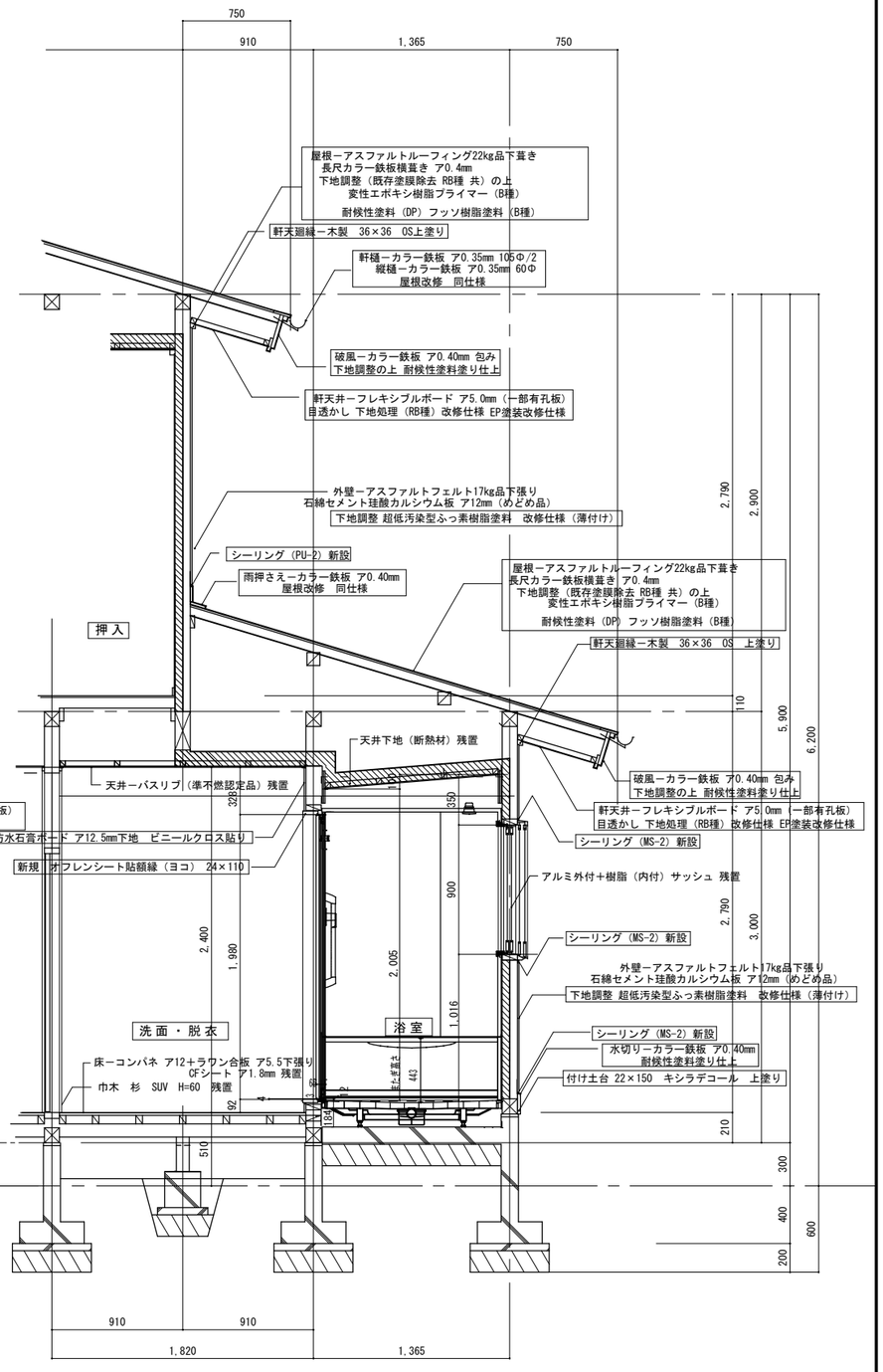


改修　洗面・脱衣





既存断面詳細図１　S=1:30



改修断面詳細図１　S=1:30

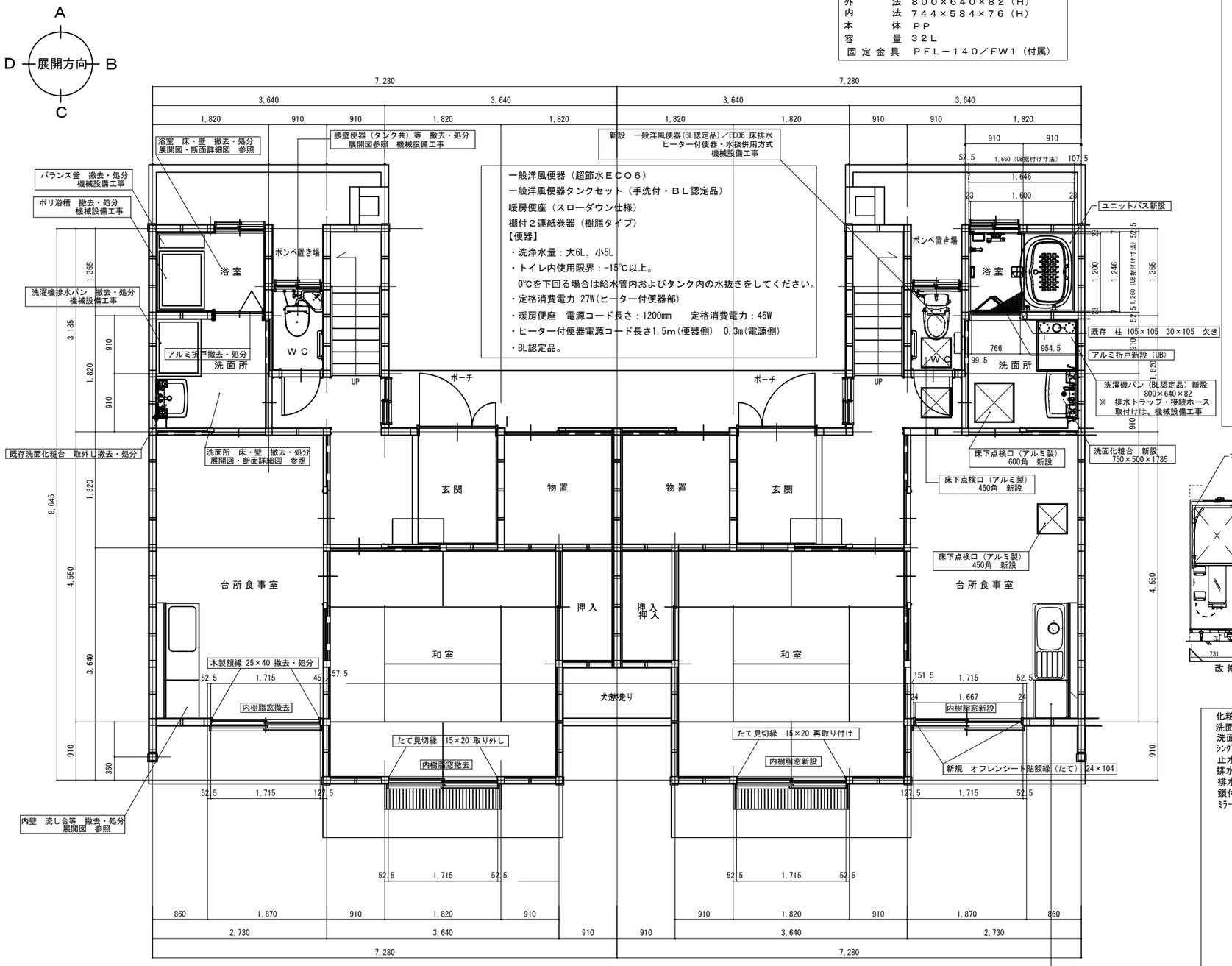
工　事　名						図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ　019－635－7801　ＦＡＸ　019－635－7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記	既存・改修　断面詳細図 既存・改修　展開図（浴室　洗面・脱衣）	S=1/30 S=1/50	R6.07	A-17／A-21 枚の内

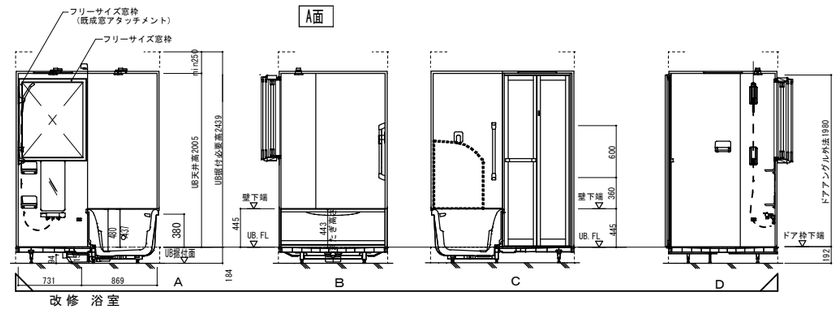
洗濯機パン（参考仕様）

外　　法	８００×６４０×８２（Ｈ）
内　　法	７４４×５８４×７６（Ｈ）
本　　体	ＰＰ
容　　量	３２Ｌ
固 定 金 具	ＰＦＬ－１４０／ＦＷ１（付属）

ユニットバス新設　戸建て用　1216（参考仕様）

床・壁・天井　各メーカー仕様
浴槽　FRP製（内法　1130W×800D×480H　程度）
プッシュワンウェイ排水栓<メタル調>
浴槽内握りバー<グレー>付
サーモバスS 浴槽保温材付・薄型保温2枚組蓋<ホワイト>
マグネット組フタフック<ホワイト>
エプロン
天井　内組平天井(廻し縁なし)[天井高2005：壁高2000程度]
ドア　折り戸[11mm段差](800W×2000H)程度
水栓金具　洗い場側：壁付サーモ水栓(クロマーレS)吐水0mm
シャワー：エコフルシャワー<ホワイト>
シャワーフック　マグネットシャワーフック(角度調節式)<ホワイト>2個
シャワーホースホルダーマグネットシャワーホースホルダー<グレー>
照明　パネルダウンライト(電球色LED) 2灯（防湿型）
ミラー　マグネットミラー　280W×580H
収納　マグネットシェルフ180W<ホワイト>(2段)
タオル掛　マグネットマルチバー180W<ホワイト>
下部据付　ボルト脚(高さ185)
ボルト脚用接着剤EU-1(2K)
給水給湯管　ブッシング(G1/2袋ナット止め)
雑排水管　配管キット：塩ビ管　VP50
握りバー　E面 浴槽出入り用 I型<ホワイト> 600L 1本
窓　窓額縁:190Dx1000Wx1000H<ホワイト/W>
窓開口補強セット(くり抜き開口用)
既設窓アタッチメント<ホワイト>
追いだき　浴槽・浴槽パン穴加工+ブッシングのみ(循環アダプター現場手配)
浴槽穴加工φ50
トラップ　ABS樹脂製 封水50mm
保温材あり





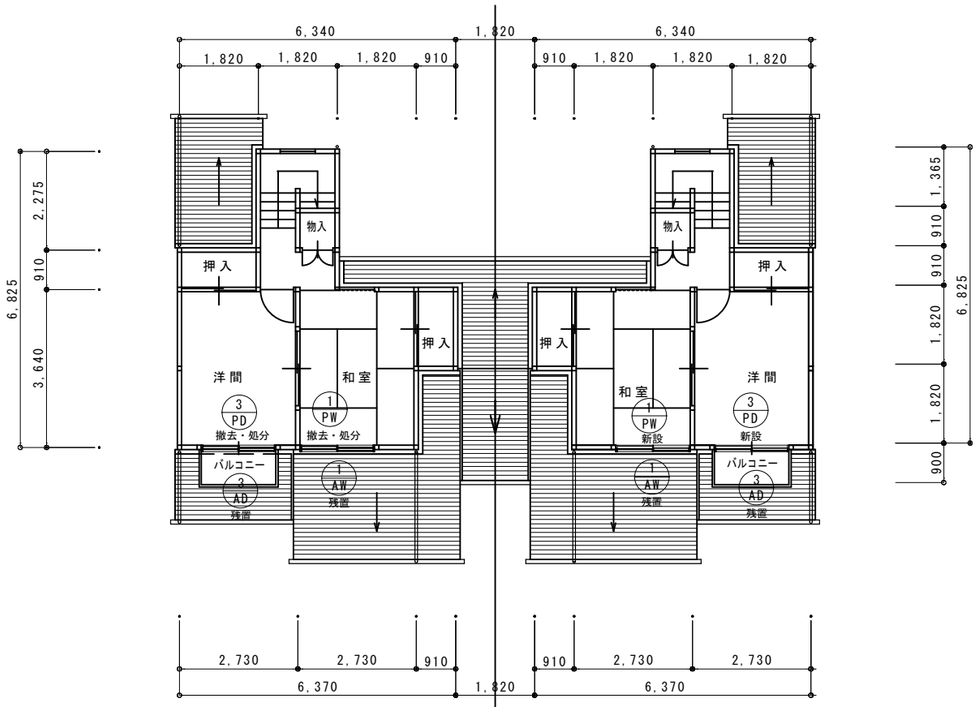
洗面化粧台（参考仕様）　750×500×1785

化粧台本体 洗面器ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ 洗面器 ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ洗髪ｼｬﾜｰ水栓 止水栓 排水器具 排水ﾄﾗｯﾌﾟ 鎖付ｺﾞﾑ栓 ﾐﾗｰｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	標準事項 ・底板、給水・給湯・排水穴加工なし ・巾木の切欠きあり ・止水栓は左側が給湯位置、右側が給水位置を示します。 特記事項 ・止水栓より下の給水管、給湯管は現地調達 ・「ねじ固定位置」には必ず補強木(幅90mm×厚み30mm以上)または、取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品合板を強固に取り付けてください。 ・排水管VP・VU50管の立上寸法は、F.L.より、30mm~50mmの範囲内で立ち上げてください。 ・排水管VP・VU40管の立上寸法は、F.L.より、50mm~70mmの範囲内で立ち上げてください。 ・ﾐﾗｰｷｬﾋﾞﾈｯﾄはｼﾘｺﾝｼｰﾘﾝｸﾞが出来ません。(ｼﾘｺﾝが付きません。) 付属部材 ・排水ﾌﾟﾚｰﾄ　PR80X34　1個 外径φ80,内径φ34 切込みなし(白) ・排水ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ　WF-8　1個 ・水受ﾀﾝｸ　BB-MT1　1個 ・ﾎｰｽｶﾞｲﾄﾞ　BHG(PP)-D(S)　1個

キッチンセット（参考仕様　展開図参照）
流し台・コンロ台・コンロ用バックガード・サイドカバー・吊戸棚　BL認定品
レンジフード（換気扇・換気用品 機械設備工事）・水切り棚（2段）600×235×500）

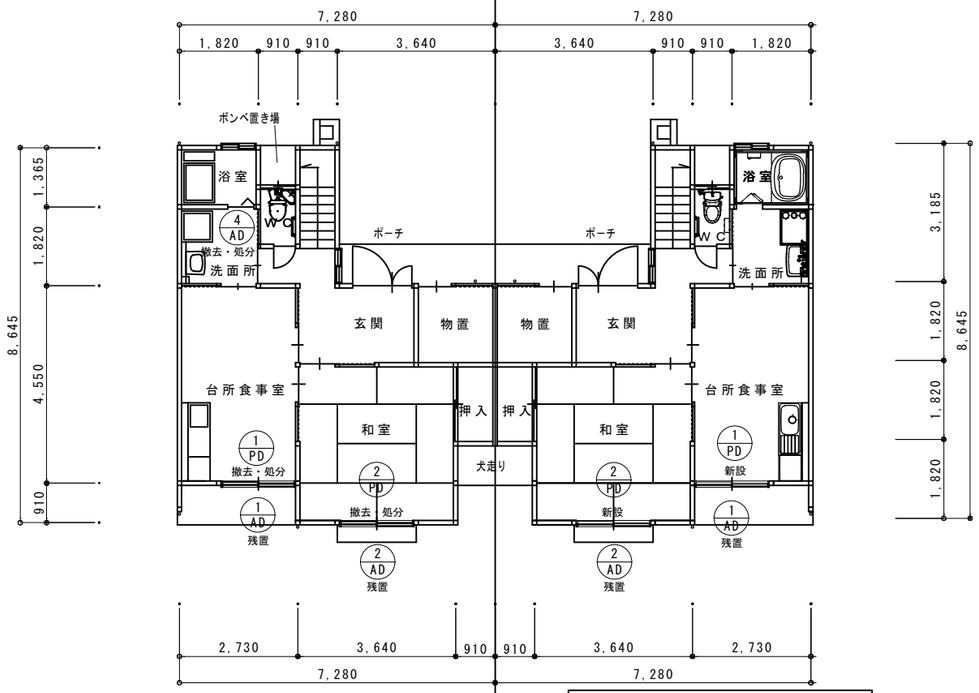
改修前　　改修後

工　事　名	（有）大久保建築設計事務所	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大　久　保　貞　輔	検　図	製　図	特　記	図面内容	縮　尺	年月日	番　号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	盛岡市西仙北１丁目19番14号　ＴＥＬ　019－635－7801　ＦＡＸ　019－635－7830					1階　平面詳細図 住宅設備改修　参考仕様	S=1/50	R6.07	A-18／A-21 枚の内



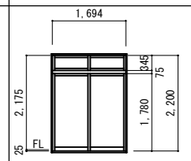
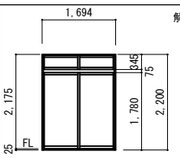
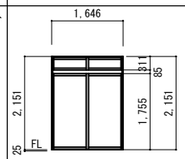
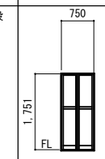
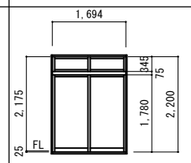
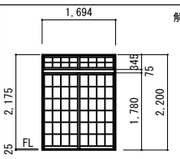
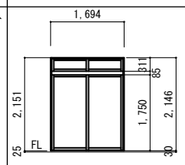
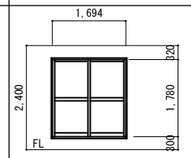
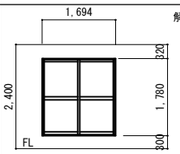
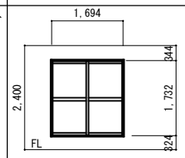
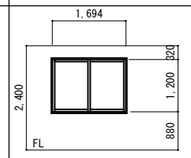
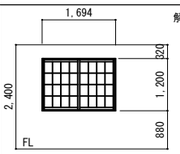
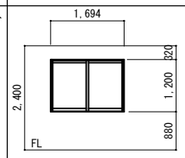
２階平面図（キープラン）S=1/100

改修前 ―― 改修後

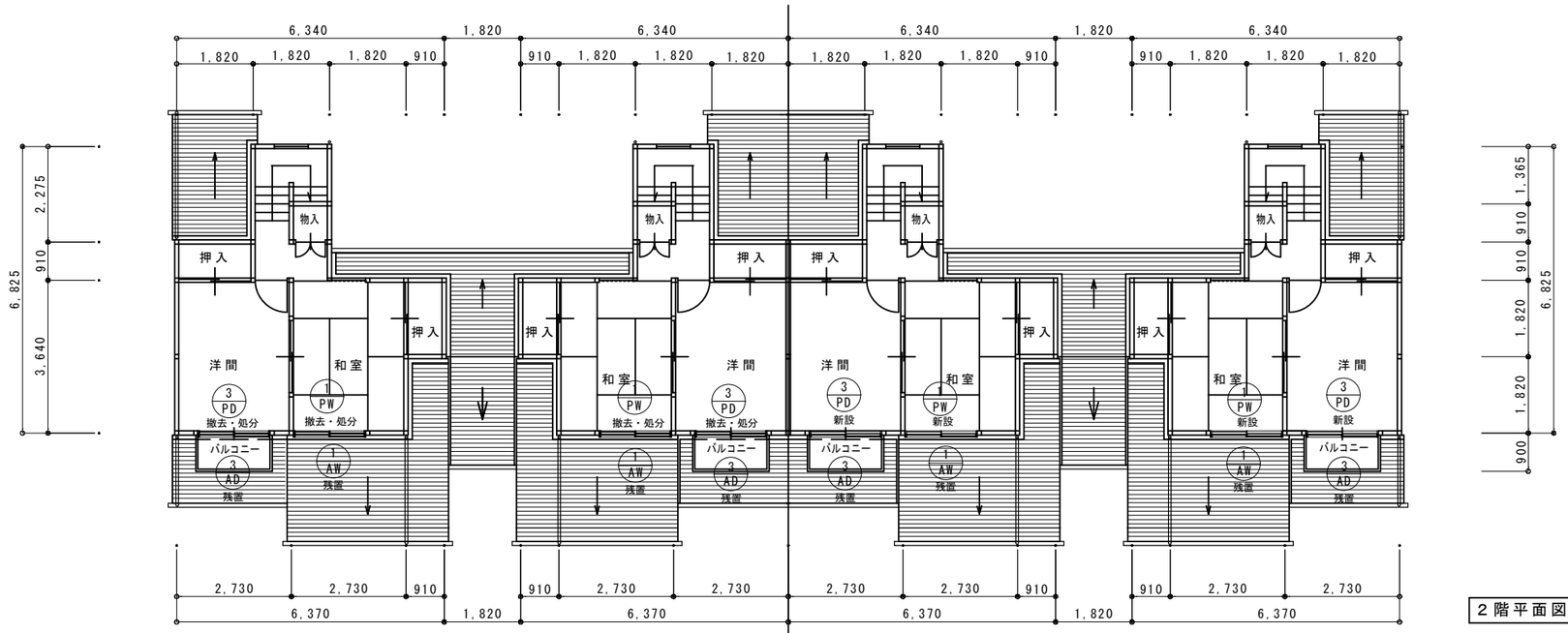


１階平面図（キープラン）S=1/100

建 具 表（各戸） S=1:100

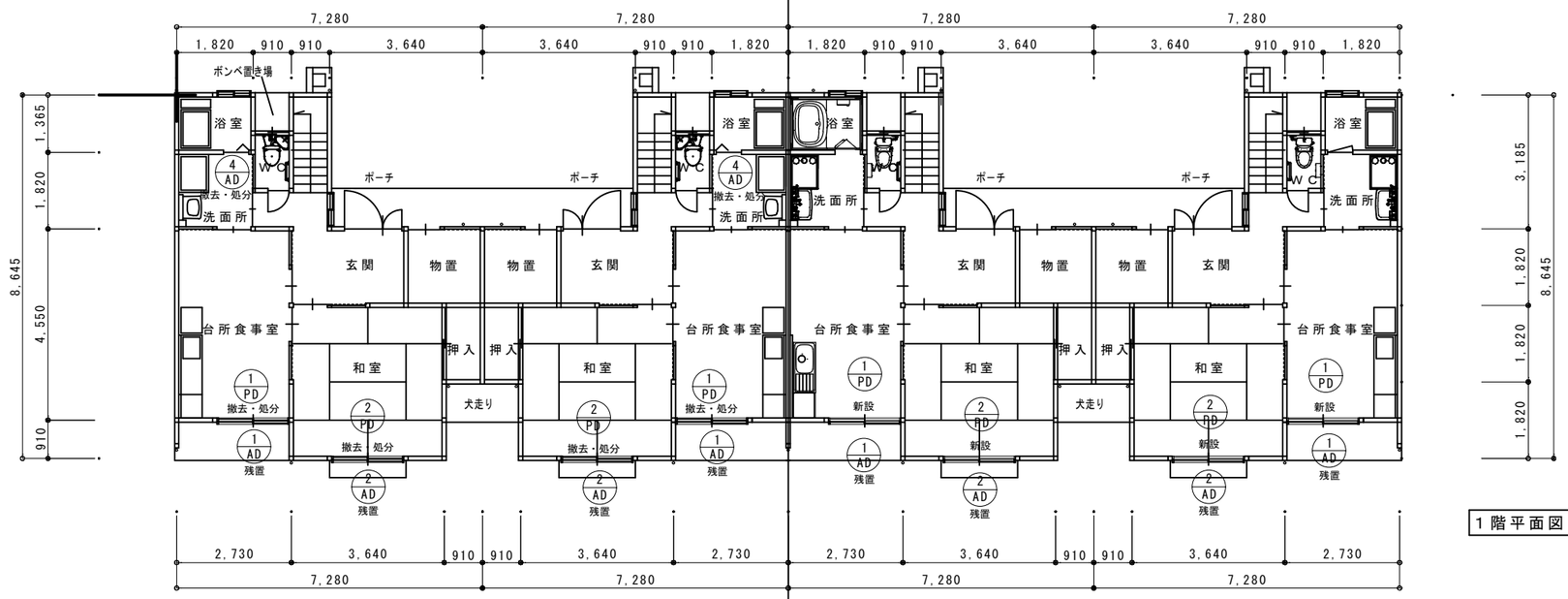
符号・数量	AD-1 1	PD-1 1	PD-1 1	AD-4 1
取付箇所	台所・食事室	台所・食事室	台所・食事室	浴室
姿 図	残置 	解体撤去・処分 	新設 	解体撤去・処分 
名 称	引違い欄間付テラス戸	同 左（内窓）	同 左（内窓）	折れ戸
材質・仕上	アルミサッシュ カラー	樹脂製	樹脂製	アルミサッシュ カラー
見 込	70（外付）	80（内付）	68（内付）	52.5（外付）
硝 子	透明 ア3.0mm	すり ア3.0mm	透明 ア3.0mm＋A16mm＋すり ア3.0mm	型板 ア4.0mm
金 物	クレセント、他標準金物一式	同 左	同 左	引手、他標準金物一式
その他				
符号・数量	AD-2 1	PD-2 1	PD-2 1	
取付箇所	和室８帖	和室８帖	和室８帖	
姿 図	残置 	解体撤去・処分 	新設 	
名 称	引違い欄間付テラス戸	同 左（内窓）	同 左（内窓）	
材質・仕上	アルミサッシュ カラー	樹脂製	樹脂製	
見 込	70（外付）	80（内付）	68（内付）	
硝 子	透明 ア3.0mm	すり ア3.0mm	透明 ア3.0mm＋A16mm＋すり ア3.0mm	
金 物	クレセント、他標準金物一式	同 左	同 左	
その他				
符号・数量	AD-3 1	PD-3 1	PD-3 1	
取付箇所	洋間６帖	洋間６帖	洋間６帖	
姿 図	残置 	解体撤去・処分 	新設 	
名 称	引違いテラス戸	同 左（内窓）	同 左（内窓）	
材質・仕上	アルミサッシュ カラー	樹脂製	樹脂製	
見 込	70（外付）	80（内付）	68（内付）	
硝 子	透明 ア3.0mm	透明 ア3.0mm	透明 ア3.0mm＋A16mm＋透明 ア3.0mm	
金 物	クレセント、他標準金物一式	同 左	同 左	
その他				
符号・数量	AW-1 1	PW-1 1	PW-1 1	
取付箇所	和室６帖	和室６帖	和室６帖	
姿 図	残置 	解体撤去・処分 	新設 	
名 称	引違い窓	同 左（内窓）	同 左（内窓）	
材質・仕上	アルミサッシュ カラー	樹脂製	樹脂製	
見 込	70（外付）	80（内付）	68（内付）	
硝 子	透明 ア3.0mm	すり ア3.0mm	透明 ア3.0mm＋A16mm＋すり ア3.0mm	
金 物	クレセント、他標準金物一式	同 左	同 左	
その他				

工 事 名			検 図	製 図	特 記	図面内容	縮 尺	年月日	番 号
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号 TEL 019－635－7801 FAX 019－635－7830	岩手県知事登録 第く(2612)496号 一級建築士登録 第77108号 大 久 保 貞 輔				１号棟 平面図（建具キープラン） １・２・３号棟 建具表（各棟共通）	S=1/100	R6.07	A-19／A-21 枚の内



2階平面図（キープラン）S=1/100

改修前 ―― 改修後



1階平面図（キープラン）S=1/100

工事名								
市営町裏第二住宅改修工事（１・２号棟）	（有）大久保建築設計事務所 盛岡市西仙北１丁目19番14号　TEL 019−635−7801　FAX 019−635−7830	岩手県知事登録　第く(2612)496号 一級建築士登録　第77108号 大久保貞輔	検図	製図	特記	図面内容 ２号棟・３号棟　平面図 （建具キープラン）	縮尺 S=1/100	年月日 R6.07	番号 A-20／A-21 枚の内